

(Well-beingをめざして)～「楽しい・やりたい」があふれる空間へ～

邑南町井原公民館



大人のアフターセブン教室 第1回 ヨガ教室



魅力発信！雲井の里 完成品贈呈式

公民館の沿革・年表

- 昭和21年 邑智郡井原村公民館会館
- 昭和28年11月3日 島根県教育委員会表彰 受賞
- 昭和28年11月3日 文部大臣表彰 受賞
- 昭和55年3月 井原農業者トレーニングセンター（現井原公民館）開設
- 平成24年2月16日 島根県教育委員会表彰 受賞

左図・写真の説明等など（PRポイントなども可）

○上写真【大人のアフターセブン教室】  
 日中、来館ができない若者、子育て世代をターゲットにした事業を開催。公民館区外からの参加も認め、同年代等の交流の場としてもらっている。毎回、次回内容を決めるアンケート調査を実施し、参加者で次回内容を決めるかたちで行っている。

○下写真【魅力発信！雲井の里 完成品贈呈式】  
 地元の産直市「雲井の里」と石見東小学校6年生と連携した取り組み。両者の間に入り、企画提案や連絡調整等を行った。現地視察やプレゼン発表等を通して、最終的に子どもたちが雲井の里の看板や横断幕等を作成し、贈呈を行った。

1. 都道府県名	島根県	3. 公民館対象人口	605人	5. 来館者のインターネット接続環境	無線LAN (Wi-Fi等)
2. 市区町村名	邑南町	4. 建物設置年月日	昭和55年	6. 来館者のインターネット接続最大端末数	
7. 運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者 ( ○○地区まちづくり協議会 ) <input type="checkbox"/> その他 ( )				
8. 来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 935人 <input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 4323人 <input checked="" type="checkbox"/> 講演会、展示会等 83人 <input type="checkbox"/> その他 ( )				合計 5,341人
9. 職員数	<input checked="" type="checkbox"/> 専任 2人 <input type="checkbox"/> 兼任 0人 <input checked="" type="checkbox"/> 非常勤 1人 <input type="checkbox"/> ボランティア協力者 0人 ( 職員のうち社会教育主事有資格者の数 1人    職員のうち社会教育士の数 1人 )    合計 3人				
10. 予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄附等 <input type="checkbox"/> その他 ( )				
11. 公民館運営審議会	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> その他 ( )				
12. 公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 子育て支援 <input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動 <input type="checkbox"/> 子ども食堂 <input checked="" type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画 <input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援 <input type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> ICTの活用 <input checked="" type="checkbox"/> 防災 <input checked="" type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input type="checkbox"/> ボランティア養成 <input checked="" type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり <input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援 <input type="checkbox"/> 自主夜間中学 <input type="checkbox"/> その他 ( )				
13. 施設の特徴、魅力	<input checked="" type="checkbox"/> 複合施設 <input checked="" type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター <input checked="" type="checkbox"/> その他 ( トレーニングセンター、地区別戦略事務局 ) <input type="checkbox"/> 自由記述 ( )				
14. 各種事業等で連携・協働している団体等 (団体名記述)	<input type="checkbox"/> 幼稚園・保育所 <input checked="" type="checkbox"/> 小中学校 <input checked="" type="checkbox"/> 高校 <input checked="" type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input checked="" type="checkbox"/> 各種団体 <input checked="" type="checkbox"/> 行政機関 <input checked="" type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 博物館 <input type="checkbox"/> 青少年教育施設 <input checked="" type="checkbox"/> その他 ( 石見東小学校、石見中学校、矢上高校、島根大学、井原つながるプロジェクト、保健課、地域みらい課、井原福寿会、井原婦人会、(農)遊邑片田、石見東児童クラブ )				

邑南町井原公民館

OPEN 8:30～17:15    H P  
 TEL 0855-95-0301    SNS



## 1. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

○公民館事業の参加者と来館者の固定化や事業ターゲットの固定化（通常の開館時間が平日の8：30～17：15であり、高齢者が小学生の放課後で行う事業が多くなる）していたことにより、若者や子育て世代の意見を聞く機会が少ないという背景があった。したがって、若者、子育て世代（特に女性＝結婚を機に移住してくる方が多く、地区に知り合いや友人が少ないと思ったため）をターゲットにした【大人のアフターセブン教室】を開催している。

○地区内にある平成10年から続く産直市「雲井の里」が高齢化等により、運営等に変化がなく、新しい挑戦等が難しくなっている話があった。同時期に石見東小学校6年生から総合学習の時間で地域の魅力を発信したいという要望があったので、令和2年から両者をつないだ事業を開催している【魅力発信！雲井の里】

## 2. 取組内容（力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動、運営の工夫など）

### 【大人のアフターセブン教室】

若者、子育て世代に来てもらうため、日中ではなく、19：00以降から始まる教室を開催。公民館区以外の参加も認め、同世代の交流の場にしてもらうため行っている。また、子育て世代に参加してもらえるよう子連れ参加も認めている。毎回アンケートを実施し、次回の内容を参加者で決めていくかたちで行っている。アンケート内容に地域や公民館についての要望等の設問も設けており、次回内容以外のニーズ把握も行っている。第1回目のアンケートでは、教室の開催日時のニーズ把握を行い、開催日時が月1回程度で金曜の19時30分から開催することになった。令和3年度はコロナの影響もあり、6回（ヨガ、バランスボール運動、お皿の絵付け等）の開催となってしまったが、子どもの参加も含め、各回約20名の参加がある。公民館区以外の参加を認めていることにより、情報交換や交流の場となっている。第2回以降は男性の参加も増えてきている。

### 【魅力発信！雲井の里】

雲井の里の現地視察→役員との意見交換→役員等へのプレゼン発表（3グループに分かれて）→作成→贈呈式というスケジュールで行い、令和2年度はPOPとBGMづくり、令和3年度は看板づくりを行い、雲井の里に贈呈を行った。工夫した点は、6年生が自分たちができること、やりたいことを実施するという点と、単年度でなくなるものではなく、長期的に残り続けるものを作成し、雲井の里に使用してもらうようにした点である。長期的に残り続けるものを作成することにより、子どもたちが中学生、高校生になっても自分達で作ったものが見え、いつまでも気にかけてもらえるようにしたいと思っている。



大人のアフターセブン教室



魅力発信！雲井の里 プレゼン発

## 3. 取組による成果や効果

### 【大人のアフターセブン教室】

- 今まで来館されなかった層が来館するよう
- 3回目以降は自走するため参加者数々が運営に参加
- 自主サークルを立ち上げた参加者もあった
- 町内の方を講師にすることを意識したことにより、町内のこと（人、お店など）を改めて知る機会に

### 【魅力発信！雲井の里】

- 6年生や卒業生が雲井の里に保護者等と一緒に成果物を見に行くように
- 外観が華やかに
- プレゼン発表で採用されなかった「ゆるキャラづくり」を雲井の里独自で動いている



魅力発信！雲井の里 完成品贈呈式

## 4. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

- 学校教育・社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う人、学識者等12名で構成する公民館運営審議会を年間1回開催。
- 地区出身の町議会議員や各自治会長、各種団体の会長等14名が委員である公民館活動推進協議会を年4回開催している
- 活動の振り返りの中で課題や改善点等について話し合い、多様な意見をふまえながら改善を行い、公民館運営を行っている。
- 【大人のアフターセブン教室】では、毎回、アンケート調査を行い、検証・改善を図っている。

## 5. 公民館として大切にしていること、大切にしている考え

- 関わる人はもちろん、自身もわくわくするような楽しいことを主に考え、事業実施
- 時代、地域ニーズに合うことを実施するため常にアンテナを立てておく
- 他館はもちろん様々な団体等と連携して取り組む（負担を分散並びに多様な考え、価値を知るため）
- 各メディアに事業等の情報を伝え、地区で様々な取り組みが行われていることを知ってもらい、新たな関係者づくりや地区に誇りに持ってもらう



デジタルデバイト問題から始めた地域の若者から教わるスマホ・SNS講座

## 6. これから公民館をどのようにしていきたいか。次の仕掛けやビジョンなど。

人口減少、少子高齢化による後継者不足や耕作放棄地の拡大等、課題は多くあり、ストレートに取り組みを行っていくことも大事だと思うが、井原公民館としてはまずは、この地区に住んでいる人達や関わってくれる人達が「住んでいて、関わっていて楽しい」ということを多く作ってきたい。そこから、楽しく住み続ける、関わり続けるにはどうするか等を主体的に考えるような仕掛けができるようにしていきたいと思っている。



島根大学との共同研究事業「井原地区の未来を考える会」

合言葉は「オール鹿島」！公民館からひとつづくり・地域づくりへ

松江市鹿島公民館



子ども佐陀神能教室成果発表会



川から海へ大航海in鹿島

公民館の沿革・年表

- 平成28年 鹿島複合施設竣工・鹿島公民館開設  
かしまバンビクラブ(乳幼児学級) 開講  
第1回鹿島町民文化祭 開催  
第1回ふるさと鹿島再発見 開催
- 平成29年 地区社会福祉協議会事務局が公民館移行
- 平成30年 寺子屋かしま(夏休みの学習支援) 開講
- 令和元年 子ども佐陀神能教室 開講
- 令和2年 なごやかおとこ塾(男性の仲間づくり) 開講
- 令和3年 島根県優良公民館表彰受賞

左図・写真の説明等など (PRポイントなども可)

- 「子ども佐陀神能教室 成果発表会」  
青少年の健全育成、伝統文化の継承を目的に「ユネスコ無形文化遺産・国指定重要無形文化財 佐陀神能」の子ども教室を実施している。鹿島町内外から20名の小中学生が参加して練習に励んでいる。
- 「川から海へ大航海in鹿島」  
町内3小学校の児童と保護者を対象にふるさとの郷土学習や川・海に親しむ自然体験活動として、佐陀川から日本海へ手作りいかだで航海するイベント。

1. 都道府県名	島根県	3. 公民館対象人口	6006人	5. 来館者のインターネット接続環境	無線LAN (Wi-Fi等)
2. 市区町村名	松江市	4. 建物設置年月日	平成28年4月1日	6. 来館者のインターネット接続最大端末数	0台
7. 運営主体	<input type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理者 (松江市鹿島公民館運営協議会) <input type="checkbox"/> その他 ( )				
8. 来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 1065人 <input checked="" type="checkbox"/> その他 3450人 ( )	<input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 4418人 <input checked="" type="checkbox"/> 講演会、展示会等 124人	合計 9,057人		
9. 職員数	<input checked="" type="checkbox"/> 専任 3人 ( 職員のうち社会教育主事有資格者の数 3人 )	<input type="checkbox"/> 兼任 0人 ( 職員のうち社会教育士の数 0人 )	<input checked="" type="checkbox"/> 非常勤 1人	<input type="checkbox"/> ボランティア協力者 0人	合計 4人
10. 予算	<input type="checkbox"/> 市区町村予算 <input checked="" type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄附等 <input type="checkbox"/> その他 ( )				
11. 公民館運営審議会	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> その他 ( )				
12. 公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 子育て支援 <input type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画 <input checked="" type="checkbox"/> ICTの活用 <input checked="" type="checkbox"/> ボランティア養成 <input checked="" type="checkbox"/> その他 ( 環境学習、人権教育、歴史学習 )	<input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり <input checked="" type="checkbox"/> 防災 <input checked="" type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援 <input type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援	<input type="checkbox"/> 子ども食堂 <input type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input type="checkbox"/> 自主夜間中学	
13. 施設の特徴、魅力	<input checked="" type="checkbox"/> 複合施設 ( <input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター ) <input checked="" type="checkbox"/> その他 ( 松江市役所鹿島支所、松江市社会福祉協議会松北地域包括支援センター ) <input type="checkbox"/> 自由記述 ( )				
14. 各種事業等で連携・協働している団体等 (団体名記述)	<input checked="" type="checkbox"/> 幼稚園・保育所 <input checked="" type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 図書館	<input checked="" type="checkbox"/> 小中学校 <input type="checkbox"/> NPO <input checked="" type="checkbox"/> 博物館	<input type="checkbox"/> 高校 <input checked="" type="checkbox"/> 各種団体 <input type="checkbox"/> 青少年教育施設	<input type="checkbox"/> 大学 <input checked="" type="checkbox"/> 行政機関 <input type="checkbox"/> その他	佐太幼稚園、講武幼稚園、恵曇保育所、御津保育所、恵曇小学校、佐太小学校、鹿島東小学校、鹿島中学校、松江市役所鹿島支所、鹿島歴史民俗資料館、松江市社会福祉協議会、鹿島自治連合会、鹿島地区民生児童委員協議会、佐陀神能保存会、中国電力株式会社 ほか

松江市鹿島公民館

OPEN 09:00~22:00  
TEL 0852-55-5716

H P <https://matsue-city-kouminkan.jp/kasima/>  
SNS





## 1. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

「平成の大合併」により松江市と鹿島町が合併し、鹿島町内の恵曇・佐太・講武・御津の4地区の公民館が廃止され、新たに鹿島複合施設内に公設自主運営方式の鹿島公民館が誕生した。4地区それぞれが自立した異なる文化と生活環境を持つため、これまでは町全体で住民が集い、団結してものごとに取り組む習慣が育ちにくいのが大きな課題であったが、鹿島公民館の誕生により、「オール鹿島」を合言葉に4地区の融和が進み、地域一体となった社会教育やまちづくりの取り組みが進んでいる。

## 2. 取組内容（力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動、運営の工夫など）

【「オール鹿島」の人づくり・地域づくり(地域の特色を生かした多様な学習)】

上記1の地域性を踏まえ、公民館が地域の一体感を創り上げるために以下の点を心掛けながら事業を展開している。

- ・4地区すべての住民が取り組める活動の実施
- ・地域それぞれが持つ個性や文化を地域全体で理解し、尊重する仕組みづくり

【特長的な活動①「寺子屋かしま・夏休み子ども教室」(住民の学習需要に基づく学習)】

町内3小学校児童を対象に、夏休み期間の学習習慣の定着や体験活動の提供を目的に実施

【特長的な活動②「川から海へ大航海in鹿島」(子どもの体験活動の充実)】

町内の小学4年生と保護者全員を対象に、手作りいかだで日本海を目指して航海する

【特長的な活動③子ども佐陀神能教室」(伝統文化継承活動)】

「ユネスコ無形文化遺産・国指定重要無形文化財 佐陀神能」の子ども教室を実施

【特長的な活動④「ふるさと鹿島再発見」(地域の特色を生かした多様な学習)】

鹿島町4地区を舞台にそれぞれの地域の歴史・文化・産業等を学ぶワークショップを開催

【特長的な活動⑤「鹿島町民文化祭」(地域の特色を生かした多様な学習)】

これまで4地区別々に開催されていた文化祭を一本化し、地域住民・子どもたちの学習成果の発表、新たな交流の場として発展



寺子屋かしま



夏休み子ども教室「あんどんづくり」

## 3. 取組による成果や効果

- ①町内3つの小学校の児童を対象に実施することで、**学校を超えた子どもたちの交流が生まれた。**子どもの学習支援への保護者の関心も高く、令和元年度は**延べ1400名の参加があった。**
- ②社会貢献活動の一環として地域の企業とも連携し、いかだの製作や運搬、運営スタッフとして関わっていただくことで**ボランティア活動の受け皿としても大きな役割**を果たしている。
- ③子どもたちにとって身近な地域の伝統文化の継承活動を通して、**子どもたちがより地域に誇りを持つきっかけになるとともに、地域の伝統文化の担い手の長期的な育成**に向けて手ごたえを感じている。
- ④地域のヒト・モノ・コトにスポットを当て、**地域理解の促進や独自の魅力発信**に繋がっている。
- ⑤100人近くの実行委員が集まり、地域住民・子どもたちの学習成果の発表の場だけでなく**新たな交流の場**として地域の一大イベントとして発展した。  
上記取り組みなどにより、**開館1年目は5千人程度だった利用者が令和元年度には2万人近くまで増加した。**



鹿島町民文化祭実行委員会

## 4. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

- ・地域諸団体の代表者24名からなる運営協議会を年3回開催している。
- ・**年間基本方針に基づいて活動を実施し、活動ごとに振り返りを定期的に行い、検証や改善を重ねている。**
- ・運営協議会正副会長に各地区自治会の代表に就任していただき、地域課題に即した運営ができるよう定期的に情報交換を行っている。

## 5. 公民館として大切にしていること、大切にしている考え

過疎化による人口減少問題を解決するため、**ふるさとに愛着を持ち、鹿島町に根差し、地域のために活動できる人材育成**を目的に子どもや保護者を対象にした活動を重点的に取り組んでいる。

同一複合施設内にある鹿島支所や包括支援センターをはじめ、**地域諸団体と連携し**、定期的にまちづくりについて議論しながら活動を進めている。



鹿島町内各種団体との意見交換

## 6. これから公民館をどのようにしていきたいか。次の仕掛けやビジョンなど。

鹿島公民館立ち上げから6年が経過し、4地区の融和は一定の成果があると手ごたえを感じている。今後も公民館が地域の中核として様々な団体と連携し、ひとづくり・まちづくりに貢献していきたい。

コロナ禍においても学びや活動を止めず、リモートを活用した研修会の実施など新たな取り組みを導入しながらひとづくり・まちづくりを進めていきたい。



鹿島公民館運営協議会総会

# 共に学び 共に考え まち全体でSDGsの実現を！

岡山市立京山公民館

春の「環境てんけん」



「ESD・SDGsフェスティバル」での中学生による活動発表



## 公民館の沿革・年表

- ・平成 6年 京山公民館開館
- ・平成15年 「環境てんけん」活動始まる
- ・平成17年 第1回「ESDフェスティバル」開催
- ・平成18年 公民館が事務局となり、「京山地区ESD推進協議会」設立
- ・平成26年 岡山市で開催された「ESD推進のための公民館－CLC国際会議」の分科会会場となる
- ・令和 2年 「つしまみんな食堂」、「SDGs・健康ウォークラリー」開始

## 左図・写真の説明等など（PRポイントなども可）

- 「環境てんけん」の様相  
平成15年以来、継続して、多くの子どもや大人、ボランティアが参加して、地域の用水の水質や植物などの調査を実施しており、野生生物の生息環境を保全する活動に発展している。
- 「ESD・SDGsフェスティバル」の様相  
市長、教育長等も参加し、地域の小中高校生をはじめ、大学生、様々な団体や企業等が参加し、それぞれの学習成果や活動の発表、持続可能な地域づくり等をテーマとして、意見交換や提案などを行っている。

1. 都道府県名	岡山県	3. 公民館対象人口	24141人	5. 来館者のインターネット接続環境	無線LAN (Wi-Fi等)
2. 市区町村名	岡山市	4. 建物設置年月日	平成6年6月24日	6. 来館者のインターネット接続最大端末数	10台
7. 運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者 ( ) <input type="checkbox"/> その他 ( )				
8. 来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 16212人 <input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 6441人 <input type="checkbox"/> 講演会、展示会等 <input checked="" type="checkbox"/> その他 38006人 (併設している伊島図書館利用者、公民館図書利用者)				合計 60,659人
9. 職員数	<input checked="" type="checkbox"/> 専任 1人 <input type="checkbox"/> 兼任 0人 <input checked="" type="checkbox"/> 非常勤 5人 <input type="checkbox"/> ボランティア協力者 0人 (職員のうち社会教育主事有資格者の数 2人    職員のうち社会教育士の数 0人)    合計 6人				
10. 予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄附等 <input type="checkbox"/> その他 ( )				
11. 公民館運営審議会	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> その他 ( )				
12. 公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 子育て支援 <input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 子ども食堂 <input checked="" type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画 <input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> ICTの活用 <input checked="" type="checkbox"/> 防災 <input type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input checked="" type="checkbox"/> ボランティア養成 <input checked="" type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり <input checked="" type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援 <input type="checkbox"/> 自主夜間中学 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (SDGs、共生のまちづくり)				
13. 施設の特徴、魅力	<input checked="" type="checkbox"/> 複合施設 <input checked="" type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター <input type="checkbox"/> その他 ( ) <input checked="" type="checkbox"/> 自由記述 (木造建築で外観、内装ともに木が多く使われており温かみのある雰囲気)				
14. 各種事業等で連携・協働している団体等 (団体名記述)	<input checked="" type="checkbox"/> 幼稚園・保育所 <input checked="" type="checkbox"/> 小中学校 <input checked="" type="checkbox"/> 高校 <input checked="" type="checkbox"/> 大学 <input checked="" type="checkbox"/> 企業 <input checked="" type="checkbox"/> NPO <input checked="" type="checkbox"/> 各種団体 <input checked="" type="checkbox"/> 行政機関 <input checked="" type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 博物館 <input type="checkbox"/> 青少年教育施設 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (伊島認定子ども園、伊島小学校、津島小学校、京山中学校、岡山工業高等学校、鳥城高等学校、明誠学院高等学校、岡山大学、岡山商科大学、ノートルダム清心女子大学、池田動物園、ファジアーノ岡山、中国銀行津島支店、藤クリン株式会社、岡山ESD推進協議会、社会福祉法人報恩積善会、津島生活学校、伊島・津島学区連合町内会、伊島・津島学区愛育委員会、伊島学区老人クラブ、伊島・津島交通安全対策協議会、伊島・津島学区交通安全母の会、チューリップの会 (子どもの社会参加を考える会in京山)、関係行政機関)				

### 岡山市立京山公民館

OPEN 9:30-21:00 日曜9:30-17:00

TEL 086-253-8302

H P

SNS

<https://www.city.okayama.jp/shisei/0000011028.html>

<https://www.facebook.com/岡山市立京山公民館-702340966544006/>





## 1. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

当該地域は、大学と高等学校各3校をはじめ、オフィスビル、商業施設等が多数立地していることから、通勤・通学等による昼間人口や流動人口が多い一方で、居住者の高齢化率が高まっており、**地域環境を維持する担い手の確保、地域コミュニティの継続、伝統文化の継承が課題**となっていた。また、市内でも在留外国人が多く、**多文化共生が課題**となるとともに、国際的な課題への関心が高い傾向があった。そうした中、平成17年に「国連ESDの10年」が始まり、岡山地域が国連大学から世界で最初の「ESDの地域拠点」(RCE)に認定されたこと等が契機となり、地域内でのESDについての関心が高まっていた。

## 2. 取組内容（力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動、運営の工夫など）

【持続可能な地域づくり・人づくり(取組全体)】

公民館を拠点に、地域の38組織(コミュニティ組織、大学、市民団体、公的機関、企業等)及び個人で構成する「京山地区ESD・SDGs推進協議会(以下、「協議会」という)」を中心に、**多様な人がつながり協働していく運営を基本として**、持続可能な地域づくりに取り組んでいる。

- 「環境てんけん」活動…小学生から社会人までが一緒に、春と秋に地域環境を調査し、環境の変化を記録している。
- ESD・SDGsフェスティバル…平成17年度から毎年、協議会に参加する各組織等が一堂に会し、それぞれが行っている活動の成果や課題について学び合い、話し合っている。
- 多文化共生プロジェクト「フレンドリー京山」…地域に在住する外国人とともに企画し、外国人のためのお医者さんマップの作成や料理を通じた文化交流・理解、日本の伝統文化の紹介、互いの風習の違いを学び合う取組を行っている。
- つまみみんな食堂…孤立しがちな高齢者や子育て世代等に「食」を通じた交流の場を提供するとともに、不要となった生活用品や学校用品、食品等を持ち寄り、必要とする人に提供する活動を行っている。
- SDGs・健康ウォークラリー…地域の自然や歴史的建造物、SDGsに取り組む事業所等を巡るウォークラリーを大学生が企画・運営して開催している。



観音寺用水での



外国人と地域住民との交流行事

## 3. 取組による成果や効果

- 「環境てんけん」活動に参加していた中学生からの提案をもとに、住環境が悪化していた観音寺用水沿いが、官学民の連携により、地域の憩いの場(緑と水の道)として整備された。希少淡水魚の生息が確認されたこともあり、**地域全体で野生生物の生息環境を保全する活動に発展**している。(令和元年、岡山市「身近な生きものの里」に認定)
- 活動分野が、当初の環境や国際理解に加えて、少子高齢化、消費者教育、安全・安心なまちづくり、防災等、幅広くなり、**「自分ごと」として学び行動する人**が増加した。
- 従来、公民館とは縁の薄かった人・組織(児童・生徒、若者、子育て世代、企業等)の参加が増加した。高校生・大学生のボランティア参加数：令和2年度は約260人、令和3年度は約600人、ESD・SDGsフェスティバルの中で集まった若者からの意見数：令和2年度は48、令和3年度は109。活動を継続することで、世代間交流がすすみ、活動開始当初、小学生だった子どもが大人となり、再び公民館活動に参加する好循環が生まれている。



多世代で意見を出し合う「ESD・SDGsフェスティバル」のワークショップ

## 4. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

- ESD・SDGsフェスティバルや協議会で、成果と課題が共有されるとともに、新たな活動が提案され、活動が見直されている。
- 公民館全体の運営について協議する公民館運営協議会で、出された意見や議論をもとに事業を見直し、翌年度の事業や中期的な事業計画の策定に活かしている。

## 5. 公民館として大切にしていること、大切にしている考え

多様な人・組織が集い、学び合うことによる**参加者の主体的な取組を大切にしている**。また、**子どもや若者からの意見・提案等には極力応えて、新たな事業化に取り組むよう留意している**。

## 6. これから公民館をどのようにしていきたいか。次の仕掛けやビジョンなど。

コロナ禍のため、従来の活動が大きく制限されることとなった一方で、孤立しがちな高齢者や子育て世代等に、「食」を通じた交流の場、日用品・食品を届け合う場、若者の社会参加の場としての公民館の役割を再認識した。**SDGsをテーマとして企業とも連携して開催した健康ウォークラリーや交流会等は今後の新たな公民館活動の方向性の一つと考えている**。岡山市は、全ての市民が生涯を通じて学ぶことによりSDGsの実現をめざす「ユネスコ学習都市」のネットワークに加盟している。京山公民館としてこの理念の実現をめざして、地域の様々な人・組織と協働して取り組んでいきたいと考えている。

# 学びを止めないポジティブ公民館

## 矢掛町矢掛公民館



夏休み学習会～水辺の教室～



高齢者とスマホを囲んで交流会

### 公民館の沿革・年表

- ・昭和45年 矢掛町公民館設置条例施行  
「矢掛町公民館矢掛分館」(矢掛小講室内)
- ・昭和49年 7専門部を設置
- ・昭和55年 「矢掛町矢掛公民館」に名称変更  
公民館主催の最初の盆踊り大会開催
- ・昭和60年 現在の矢掛会館内に事務所移転
- ・平成16年 専門部を7部門から5部門に再編
- ・平成18年～ 公民館祭を2日間にわたって開催 世代交流活動
- ・平成24年 夏休み学習会等の開始(地域学校協働活動)
- ・令和3年 矢掛公民館40年のあゆみ 発行

### 左図・写真の説明等など (PRポイントなども可)

・令和3年3月「矢掛公民館40年のあゆみ」発行 発行にあたり、約1年半かけて、各専門部員の代表等が編集委員となり、資料写真収集・原稿作成・対談・編集校正をした。また、令和2年には「なつかしの写真と資料展」を行った。  
 ←令和3年7月に開催した地域学校協働本部事業「夏休み学習会～水辺の教室～」の様。1年～3年生児童・保護者35人と地域ボランティアが参加。小田川の清流にアユを放ち、アユのつかみ取りを実施。小田川の生き物やアユについて、子ども達が体験を通じて学んだ。  
 ← 高齢者とスマホを囲んで交流会 (詳細は様式3-2)

1. 都道府県名	岡山県	3. 公民館対象人口	3400人	5. 来館者のインターネット接続環境	無線LAN (Wi-Fi等)
2. 市区町村名	矢掛町	4. 建物設置年月日		6. 来館者のインターネット接続最大端末数	
7. 運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者 ( <input type="checkbox"/> 地区まちづくり協議会 ) <input type="checkbox"/> その他 ( )				
8. 来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 300人 <input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 4500人 <input checked="" type="checkbox"/> 講演会、展示会等 300人 <input checked="" type="checkbox"/> その他 315人 ( 運営会議等 )				合計 5,415人
9. 職員数	<input type="checkbox"/> 専任 0人 <input checked="" type="checkbox"/> 兼任 1人 <input checked="" type="checkbox"/> 非常勤 3人 <input type="checkbox"/> ボランティア協力者 0人 ( 職員のうち社会教育主事有資格者の数 0人    職員のうち社会教育士の数 0人 )    合計 4人				
10. 予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input checked="" type="checkbox"/> 寄附等 <input type="checkbox"/> その他 ( )				
11. 公民館運営審議会	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> その他 ( 矢掛公民館運営委員会 )				
12. 公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input type="checkbox"/> 子育て支援 <input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動 <input type="checkbox"/> 子ども食堂 <input checked="" type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画 <input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援 <input type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> ICTの活用 <input checked="" type="checkbox"/> 防災 <input checked="" type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input checked="" type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input type="checkbox"/> ボランティア養成 <input checked="" type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり <input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援 <input type="checkbox"/> 自主夜間中学 <input type="checkbox"/> その他 ( )				
13. 施設の特徴、魅力	<input checked="" type="checkbox"/> 複合施設 <input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター <input checked="" type="checkbox"/> その他 ( 適応指導教室 ひまわりの家 ) <input type="checkbox"/> 自由記述 ( )				
14. 各種事業等で連携・協働している団体等 (団体名記述)	<input type="checkbox"/> 幼稚園・保育所 <input checked="" type="checkbox"/> 小中学校 <input checked="" type="checkbox"/> 高校 <input type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input checked="" type="checkbox"/> 各種団体 <input checked="" type="checkbox"/> 行政機関 <input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 博物館 <input type="checkbox"/> 青少年教育施設 <input checked="" type="checkbox"/> その他 ( 地区社会福祉協議会 自治協議会 )				

### 矢掛町矢掛公民館

OPEN 8:30～17:00 (貸館22:00) H P <http://www.town.yakage.lg.jp/kouminkan/yakage/>  
 TEL 0866-83-3576 SNS



## 1. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

高齢化が進む矢掛町は、町内のICT化が進む一方で、デジタルデバイト解消が大きな課題となっている。町の防災情報やイベント情報は、SNSによるものが進んでおり、高齢者にいち早く情報を伝達することも課題となっている。そのような中、「スマホは持っているが使い方が分からない。」「スマホにしてみたいがどうしたらいいか分からない。」等のシニアの声を聴くことが多い状況である。

さらに、もう一つの課題として、コロナ禍における公民館祭の実施の仕方である。学びを止めないことをモットーに、各団体の舞台（活動）発表の場をいかにして設けるかがネックとなっていた。上記を解決するため、専門部等で話し合い、次の取組を行った。

## 2. 取組内容（力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動、運営の工夫など）

### 【高齢者とスマホを囲んで交流会】（デジタルデバイト解消に向けて）

上記の課題解決のため、まず、公民館職員が、県生涯学習センターの「社会教育実践専門講座」を受講し、ICTを活用した事業づくりを学ぶところからスタートした。その中で、70歳以上の高齢者を対象とした「高齢者とスマホを囲んで交流会」を実施。講師は、業者ではなく、公民館の教養文化部員（地域の人）が隣に座り、「かゆいところに手が届く方式」で、できた喜びを共有し、高齢者が社会の変化に取り残されないよう、気軽にポジティブに向かう活動とした。

### 【学びを止めない持続可能な舞台（活動）発表】（ICTを活用した情報共有）

コロナ禍で公民館祭の舞台発表が令和2年度に続き困難であり、各文化団体は、日々の成果を発揮できる場所がない状況であった。そのため、各団体の発表を事前に撮影し、公民館祭当日に、来場者に見ていただけるよう、繰り返し上映することで発表に変える取組を行った。発表者にとっても、来場者にとっても有意義な時間となり、コロナ禍における文化祭の在り方を他の公民館にも提供する良い機会となった。

さらに、公民館における講演会等をYouTubeで配信する取組も始めている。



## 3. 取組による成果や効果

### 【各活動による成果・効果（「高齢者とスマホを囲んで交流会」）

- 高齢者が容易に操作できることに気づいたり、自分で操作ができるようになったりすることにより、満足感が高まり、中にはさらに学びたいという意欲や向上心が沸いた。
- 令和4年度には、第2弾3弾を行うこととしており、マイナンバーカードや納税等の諸手続きができるようになること、対話型の講師を高校生に依頼することで、世代間交流促進や、新たなつながりをつくることとしている。

### 【公民館の取組全体による成果】

- 地元矢掛高校との連携が進み始めている。高校生が地区について学ぶため公民館を来館したり、ボランティアに携わる等、今後ますます高校生と公民館とのタイアップが期待される。



## 4. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

- 月に2回の職員会議、年2回の正副部長会、年3回の各部会を行い、公民館の現状や課題、活動ごとの振り返りや改善点を話し合い、PDCA及び持続可能を意識した公民館活動運営を行っている。
- 公民館長は、地区内の矢掛小学校運営協議会委員でもあり、地域学校協働活動についても情報交換しながら、夏休み・冬休み学習会等、協力体制をとっている。

## 5. 公民館として大切にしていること、大切にしている考え

- 公民館単独では困難な大きな行事（盆踊り・体育祭）等については、自治協議会と地区社会福祉協議会の3者共催で行うこととしている。公民館を拠点に3者が連携をとり、つながりづくりを進めている。また、矢掛高校の地域コーディネーターと連携をとりながら、高校生の公民館活動参画を進めている。



## 6. これから公民館をどのようにしていきたいか。次の仕掛けやビジョンなど。

- ICT化やデジタルデバイト解消に向けて、行事申込やアンケート集計には、QRコードを活用した業務改善を図ったり、講演会のYouTube配信を進めていく。
- 単なるデジタル化ではなく、地域の人達のやる気を大切にし、高校生等と世代交流を図りながら、変化する社会に高齢者を取り残さない仕組みを継続する。
- 50周年に向けて、地域の人々の協力を得ながら、地域で子どもを育てることを大切にしていこう。



40周年



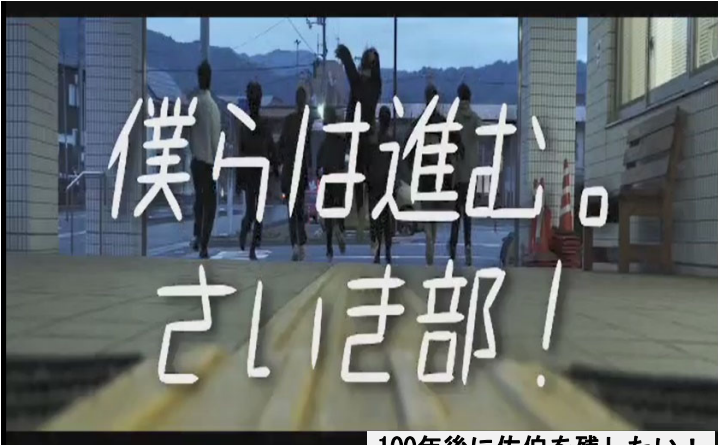
# 「さいき部!」未来創造プロジェクト

～ 若者 × デジタル で 佐伯の未来を創る ! ～

## 廿日市市津田市民センター



PR動画作成 初めての撮影に挑戦中!



100年後に佐伯を残したい!

### 公民館の沿革・年表

- ・昭和53年12月 旧佐伯町農村環境改善センター（町民ホール）完成
- ・平成15年 3月 佐伯町が廿日市市と合併
- ・平成19年 4月 さいき文化センター（津田市民センター）開館
- ・平成31年 1月 駐車場内に交通結節点を整備（中山間部のバス路線再編のため）
- ・令和 3年 4月 ネーミングライツパートナー契約により、「水と緑のまち さいき文化センター」の愛称使用開始

### 左図・写真の説明等など（PRポイントなども可）

- 動画作成風景  
若手の映像クリエイターのサポートのもと、初めてのデジタル動画撮影に挑戦。動画編集の技術等も学びながら、YoutubeやSNSで発信している。「やりたいこと」の実現に向けて、デジタルネイティブ世代の若者たちが楽しみながら学び、つながり、地域の未来の担い手として育ってきている。
- PR動画の一部  
豊かな自然とともに「100年後にも佐伯を残したい」という若者たちの熱い思いを動画で発信。地域内外の人たちと価値観を共有し、多様なつながりを広げている。

1. 都道府県名	広島県	3. 公民館対象人口	2556人	5. 来館者のインターネット接続環境	有線・無線の両方	
2. 市区町村名	廿日市市	4. 建物設置年月日	平成19年4月1日	6. 来館者のインターネット接続最大端末数	5台	
7. 運営主体	<input type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者 ( ) <input checked="" type="checkbox"/> その他 ( 地域振興部に事務移管 )					
8. 来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 1621人 <input checked="" type="checkbox"/> その他 ( 図書館の利用者等 )	<input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 6452人 <input checked="" type="checkbox"/> 講演会、展示会等	合計		8,073人	
9. 職員数	<input type="checkbox"/> 専任 0人 <input checked="" type="checkbox"/> 兼任 2人 <input checked="" type="checkbox"/> 非常勤 1人 ( 職員のうち社会教育主事有資格者の数 1人 職員のうち社会教育士の数 1人 )	<input type="checkbox"/> ボランティア協力者 0人 合計 3人				
10. 予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄附等 <input type="checkbox"/> その他 ( )					
11. 公民館運営審議会	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> その他 ( 市民センター企画運営委員会 )					
12. 公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 子育て支援 <input checked="" type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画 <input checked="" type="checkbox"/> ICTの活用 <input checked="" type="checkbox"/> ボランティア養成 <input checked="" type="checkbox"/> その他 ( 環境保全, インターネットリテラシー, デジタルデバイドの解消 )	<input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり <input checked="" type="checkbox"/> 防災 <input checked="" type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援	<input type="checkbox"/> 子ども食堂 <input checked="" type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input type="checkbox"/> 自主夜間中学		
13. 施設の特徴、魅力	<input checked="" type="checkbox"/> 複合施設 ( <input checked="" type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター ) <input checked="" type="checkbox"/> その他 ( 298人収容可能な多目的ホールがあります。 ) <input type="checkbox"/> 自由記述 ( )					
14. 各種事業等で連携・協働している団体等 (団体名記述)	<input checked="" type="checkbox"/> 幼稚園・保育所 <input type="checkbox"/> 企業 <input checked="" type="checkbox"/> 図書館	<input checked="" type="checkbox"/> 小中学校 <input checked="" type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> 博物館	<input checked="" type="checkbox"/> 高校 <input checked="" type="checkbox"/> 各種団体 <input type="checkbox"/> 青少年教育施設	<input type="checkbox"/> 大学 <input checked="" type="checkbox"/> 行政機関 <input type="checkbox"/> その他	津田保育園、津田小学校、佐伯中学校、佐伯高校、NPO日本医療ソーシャルワーク研究会、社会福祉協議会佐伯事務所、津田・四和ふれあいまちづくりの会、津田・四和自主防災会、各町内会、連合女性会、津田女性会、老人クラブ連合会、津田長寿会、食生活改善推進協議会（津田地区）、佐伯公衆衛生推進協議会、青少年育成廿日市市民会議佐伯支部、佐伯支所、はつかいち市民さいき図書館ほか	

### 廿日市市津田市民センター

OPEN 9:00~21:30

TEL 0829-72-0336

H P <https://www.city.hatsukaichi.hiroshima.jp/site/tsutasc/>

SNS





## 1. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

- 人口減少が進む廿日市市佐伯地域（高齢化率：41.7%）に所在する津田市民センターでは、地域力向上や地元高校の存続・魅力化に住民と協働して積極的に取り組んできた。
- そうした中で、令和2年、センターの主催事業「動画作成講座」に、高校の部活動（総合科学部）の一環として参画していた**県立佐伯高校の生徒や若手クリエイターを中心メンバーとして津田市民センター事業「さいき部！」**が設立されることとなった。以降、コロナ禍で対面型事業の中止・制限が継続する中で、「佐伯を自分たちの力でなんとか元気にしたい！」という**若者たちの思いや主体的な取組を市民センターが伴走する**形で活動を広げている。「さいき部！」プロジェクトは、若者の力とICTを活用したまちづくり活動として、センターに「つどう」多くの住民が、お互いに「楽しみ」ながら「学び」、「つながり」、佐伯の未来を明るく元気にしていくことを目指し様々な主体と連携しながら展開する取組となっている。

## 2. 取組内容（力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動、運営の工夫など）

【「さいき部！」未来創造プロジェクト】若者×デジタルで佐伯の未来を創る！（主な取組）

- 人生100年時代講座「スマホ携帯電話知れば知るほど活用術」（高齢者支援）**
  - ・人生100年時代に向けて高齢者を対象に、**災害時のネット利用などの「デジタルデバインド」の解消**を目指し、コミュニケーションアプリLine等のスマートフォンの使い方を学ぶ講座を開催。「さいき部！」の**高校生たちはボランティアとして運営に参画**し、高齢者を支援した。コロナ禍での外出自粛など世代間の関わりが少なくなった地域の人たちと若者が交流し、地域活性化や絆づくりにもつながった。
- 青春応援企画！！「自分のやりたいことって？その見つけ方教えます！」（若者層の参画）**
  - ・中高生たちの「やりたいこと」を見つける講座を企画。「さいき部！」のデジタル活動をサポートする映像クリエイターの協力を得て、YouTubeのライブ配信機能を使い、今後の進路や仕事などのリアルな体験談を語り合うオンライン対談会（トークイベント）を開催した。この企画は自分たちの夢や「やりたいこと」を見つけ始めた中高生たちの活動が飛躍的に自分事としてステップアップする契機になった。
- 星空★科学ラボ「みんなで佐伯の星空を見よう！サイエンスを楽しもう！」（企業との連携）**
  - ・佐伯高校が総合光学機器メーカーの「天文部応援中！」事業に採択されたことをきっかけとし、企画に参画。高校生たちが星座や流星群について解説し、センターの屋上でスマートフォンやタブレットのアプリを用いながら天体観測するイベントを行った。また、ビスマス（金属元素）結晶を作る実験を実施し、小学生等の子供たちが楽しみながら結晶のアクセサリーを作成した。
- 佐伯の魅力を発信するデジタル動画やTRPGの作成・配信（デジタル技術の活用）**

佐伯の魅力や「さいき部！」の活動を紹介する**動画の撮影・編集・配信**や、「佐伯探検」をテーマとした、会話をで物語を作り上げる「TRPG」（Table Talk Role-Playing Game）動画の作成・配信等、若者らしい最新のデジタル技術を活用した取組に挑戦し、Youtube配信等により、**広く世界へ向けて地域の魅力を発信**している。



人生100年時代講座  
「スマホ活用術」で



「星空★科学ラボ」の実験

【関連事業】「キャリアスタート！～カタリバミニ～」(キャリア教育・中学校連携)、「津田っ子カモン」(農業体験・交流)、「eboardゼミ」(タブレット貸出、学習支援)、「こどもがつくるまちもりうみ@つた」(子供まちづくり事業)、「教室開放」(子供の居場所づくり、学校連携)、「スマホ・PC相談室」(デジタル・デバインド解消支援(毎週金曜開催))ほか

## 3. 取組による成果や効果

- 「さいき部！」に参画する高校生たちが、実際に地域活動を企画・立案し、その運営を経験することにより、**地域の未来を自分事として考える**ようになった。さらに、事業に参加した中学生たちから、自分たちも「さいき部！」で活動をしたいという声が上がリ、事業への関わりが参加から参画へ発展するなどの好循環が生まれている。
- 事業に協力・協賛した関係団体から「次も一緒に活動したい」という声が上がったり、活動を知った団体から「こんなことを一緒にやれないか」という提案や依頼（例：地区の公衆衛生推進協議会からのごみカレンダーの協働作成依頼）があるなど、事業に関わる関係者の輪が広がっている。
- ソーシャルワークに取り組むNPOからの協働研究や活動助成の働きかけ等により、「スマホ携帯電話知れば知るほど活用術」講座等を実施し、**「地域福祉」や誰一人取り残さない「社会的包摂」の視点からの活動**の幅が広がる等の波及効果も見えてきた。



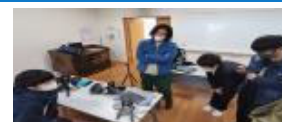
「やりたいこと」の実現に向けて真剣に語り合い中

## 4. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

- センター職員（社会教育士）のコーディネートにより、活動後に、振り返り会を実施。参加者アンケートを分析して、成果と課題を整理し共有するほか、失敗したこと、よかったこと等、今後の取組につなげ改善するための方策やアイデアを集約しメンバーで話しあっている。**振り返り会の内容等を報告書としてまとめ、LINEに流してメンバーで情報共有**するほか、デジタルデータをアーカイブとして保存している。

## 5. 公民館として大切にしていること、大切にしている考え

- 「さいき部！」の主体は常に「若者」たちでセンター職員はその伴走者であり、部のメンバーが自分たちで企画や役割分担、進行手順の調整、同年代の参画者探し等、当事者として常に目的意識をもち、主体的に活動していけるような伴走型の支援を心掛けている。今後も「さいき部！」の活動の発展を契機に、小学生から高齢者までの多世代の住民が集い、学び、つながることができる市民センターの運営に努めたい。



動画の構成を話し合う若者たち

## 6. これから公民館をどのようにしていきたいか。次の仕掛けやビジョンなど。

- 人口減少が進む佐伯地区の学びと交流の拠点として、地域内外の多世代・多様な人たちが乗り入れ、日常的に地域づくりのための**アイデアや相談ができる「よろず相談所」**のような場所にしていきたい。
- このために、市役所の他部署や、NPO、学校、住民や関係機関・団体等の多様な主体や人と人とのつながりを生み出し、**ソーシャルキャピタルを創出する基盤としての機能をさらに発揮**していきたい。



地域の「よろず相談所」目指します

# リモート公民館ひろしまプロジェクト

## 広島市中央公民館



リモート公民館LIVE2021



ゲンビアートクルーズ

### 公民館の沿革・年表

- ・昭和24年7月30日 広島市中央公民館開館
- ・昭和53年9月15日 中央公民館新築移転，複合施設で開館
- ・昭和59年11月3日 優良公民館として文部大臣賞受賞
- ・平成8年4月1日 広島市が，(財)広島市ひと・まちネットワークに広島市内の公民館の管理運営を委託。
- ・平成18年4月1日 指定管理者制度導入
- ・平成23年4月1日 財団が統合し(財)広島市未来都市創造財団となる
- ・平成26年4月1日 (公財)広島市文化財団に移行

### 左図・写真の説明等など (PRポイントなども可)

「つながることでコロナを乗り越えよう！」と，広島市内公民館で連携し，リモートで事業を行った。

- リモート公民館LIVE2021のチラシ (共催施設14館) 広島市内公民館グループによる発表会。オンラインで広島市内の公民館と青少年センター，館外での中継をつなぎYouTubeで配信した。
- ゲンビアートクルーズ 本財団の豊富な資源とネットワークを活かし，休館中(リニューアル工事中)の広島市現代美術館の職員が，オンラインでガイドやクイズなどでナビゲートする事業を展開。(共催施設19館)

1. 都道府県名	広島県	3. 公民館対象人口	29010人	5. 来館者のインターネット接続環境	有線・無線の両方
2. 市区町村名	広島市	4. 建物設置年月日	昭和53年9月14日	6. 来館者のインターネット接続最大端末数	おおむね10台
7. 運営主体	<input type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理者 ( (公財) 広島市文化財団 ) <input type="checkbox"/> その他 ( )				
8. 来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 2213人 <input checked="" type="checkbox"/> 貸館，サークル活動 23792人 <input checked="" type="checkbox"/> 講演会，展示会等 13,741人 <input checked="" type="checkbox"/> その他 6546人 ( <input type="checkbox"/> ビー・図書室利用 )				合計 46,292人
9. 職員数	<input checked="" type="checkbox"/> 専任 4人 <input type="checkbox"/> 兼任 0人 <input checked="" type="checkbox"/> 非常勤 1人 <input type="checkbox"/> ボランティア協力者 0人 ( 職員のうち社会教育主事有資格者の数 3人 職員のうち社会教育士の数 0人 )				合計 5人
10. 予算	<input type="checkbox"/> 市区町村予算 <input checked="" type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄附等 <input type="checkbox"/> その他 ( )				
11. 公民館運営審議会	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> その他 ( )				
12. 公民館が実施している，もしくは，関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 子育て支援 <input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動 <input type="checkbox"/> 子ども食堂 <input checked="" type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画 <input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援 <input type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> ICTの活用 <input type="checkbox"/> 防災 <input checked="" type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input checked="" type="checkbox"/> ボランティア養成 <input checked="" type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり <input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援 <input type="checkbox"/> 自主夜間中学 <input checked="" type="checkbox"/> その他 ( 多世代交流，国際理解，平和教育，人権問題学習，関係人口づくり )				
13. 施設の特徴，魅力	<input checked="" type="checkbox"/> 複合施設 ( <input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター ) <input checked="" type="checkbox"/> その他 ( 中央老人福祉センター，広島市シルバー人材センターほか ) <input checked="" type="checkbox"/> 自由記述 ( 広島市内中心部に位置し，交通の便が非常に良く，部屋数も多い )				
14. 各種事業等で連携・協働している団体等 (団体名記述)	<input checked="" type="checkbox"/> 幼稚園・保育所 <input checked="" type="checkbox"/> 小中学校 <input checked="" type="checkbox"/> 高校 <input checked="" type="checkbox"/> 大学 <input checked="" type="checkbox"/> 企業 <input checked="" type="checkbox"/> NPO <input checked="" type="checkbox"/> 各種団体 <input checked="" type="checkbox"/> 行政機関 <input checked="" type="checkbox"/> 図書館 <input checked="" type="checkbox"/> 博物館 <input checked="" type="checkbox"/> 青少年教育施設 <input type="checkbox"/> その他 ( ともえ保育園，市立基町・白島・幟町小学校，幟町中学校，基町高校，広島文教大学，江崎グリコ，あしがるクラブ (環境団体)，ローカルネットひろしま (パソコン)，子ども会，児童館，中区役所，中保健センター，市立こども図書館，広島城，現代美術館，青少年センターなど )				

### 広島市中央公民館

OPEN 8:30~22:00

H P [www.cf.city.hiroshima.jp/chuo-k/](http://www.cf.city.hiroshima.jp/chuo-k/)

TEL 082-221-5943

SNS <https://www.facebook.com/Chuokominkan/>





## 1. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

- 新型コロナウイルス感染症まん延に伴う非常事態宣言以降、公民館も長期の事業中止など大きな影響を受けた。人と地域の繋がりが弱り、公民館の役割も従来の取り組みだけでは困難な状況となってきた。そんな中で、**広島市内の公民館で一早くZoomのライセンス契約を締結し、この現状の中でも実施することができるリモート事業を試みることにした。**
- 公民館がこれまで提供してきた**集合対面型の事業を補完**するとともに、幅広い学習成果の発信や**公民館の未利用層へのアプローチ**にも繋がり、アフターコロナにおいても有効な新しい事業展開の構築を図るため、市内の公民館や美術館、市民活動団体と連携し様々なリモート事業にチャレンジした。

## 2. 取組内容（力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動、運営の工夫など）

### 【子育て応援スペース「オンラインちゅうごう」】（子育て支援）

コロナ禍で出産し、育児をしている若い親は、同じくらいの子育て中の親と知り合う機会がない、不安を共有する場がないなど深刻な悩みを抱えている。そのような**子育て中の親を対象に「オンライン子育て支援事業」を実施した。**

### 【オンラインサマースクール「おうちで大実験」】（若者のまちづくり参画）

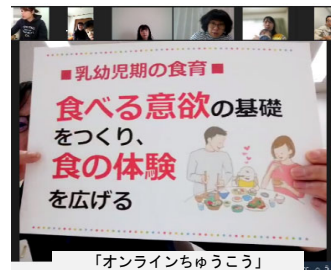
コロナ禍でボランティア活動が制限され外部との接触機会を失った大学生が、オンラインで「夏休みの**科学実験教室**」を実施。大学生が専門分野を活かそうと企画した。小学生を対象にスケルトンエッグづくりやブックトークを実施した。

### 【リモート公民館LIVE2021】（より多様な人材が地域づくりに参画する関係人口づくり）

グループの活動発表の場がない、練習に身が入らない等の相談から、**広島市内の公民館(13館+広島市青少年センター)が連携し、グループ発表会を実施した。**グループの発表だけでなく、**遠く離れた公民館をつなぎ地域の魅力をPRした。**市民活動団体にも参加を促し、活動のPRにつなげた。

### 【ゲンビアートクルーズ】（地域資源を活用したまちづくり）

広島市青少年センターと広島市現代美術館、広島市内の公民館(17館)が連携して行った。コロナ禍で思うように事業ができない中、**オンラインでつながることで「人口減少時代の新しい地域づくり」にもつながる可能性のある事業を展開し、現代美術館から遠く離れた地域の子どもたちも日常的にアートに触れることができる機会を設けた。**



## 3. 取組による成果や効果

### 【子育て応援スペース「オンラインちゅうごう」】（子育て支援）

同じくらいの子どもを持つママと話ができた等の感想が寄せられた。また、講座終了後は、対面（オフライン）で会うなど、**母親同士でつながりを深めるきっかけとなった。**

### 【オンラインサマースクール「おうちで大実験」】（若者のまちづくり参画）

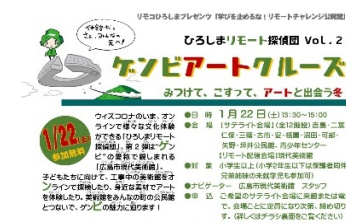
Zoomを使って双方向のやり取りに子どもたちも楽しく参加した。大学生にとっては、企画から実施までをやり遂げ、**自信につながるとともに、公民館の存在を知り、地域に目を向けるきっかけにもなった。**

### 【リモート公民館LIVE2021】（より多様な人材が地域づくりに参画する関係人口づくり）

公民館まつり等が中止される中、公民館グループの活動発表の場がオンライン上で配信された。広島市内公民館をオンラインでつなぐことで、**遠くに行けない広島市内の公民館に興味を持つきっかけになった。**

### 【ゲンビアートクルーズ】（地域資源を活用したまちづくり）

市内8区全てから**1館以上の公民館が連携するネットワーク事業を実施**することができた。現代美術館から遠く離れた地域の小学生が想像力を発揮し楽しく参加していた。



## 4. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

- 講座終了時、アンケートを実施し、参加者の意見を聞く。
- 学識者や地域団体の会長など、29名で構成**する公民館運営委員会を年1回開催している。
- 技術面、運営面について職員間で意見交換をした。検証と改善を行い次回につなげる。



## 5. 公民館として大切にしていること、大切にしている考え

- 市民や大学生の意見をよく聞き一緒に考え、**協働で実施できる体制**づくり。
- コロナ禍でも学びを止めず、新しい事業（リモート事業）にチャレンジ**する。
- 財団のネットワークを活用し、職員同士で連携する。



## 6. これから公民館をどのようにしていきたいか。次の仕掛けやビジョンなど。

- オンラインとオフラインの両方をうまく活用した事業を展開する。
- オンラインの特性をいかして、広島市内公民館や団体とのネットワーク事業を実施する。
- 大学生等、若い世代を取り込み**公民館の関係人口を増やす。**
- DXを目指す一助になるような事業展開が必要。今後は特に**SNSの情報発信**に力を入れていきたい。



みんなで一緒になんか面白いことやってみようやあ！

福山市服部交流館



服部交流館落成記念行事にて

公民館の沿革・年表

- 平成 2年 福山市服部公民館開設
- 平成 3年 「服部の自然を守る会」設立
- 平成 4年 第1回「服部ほたる祭り」開催
- 平成 31年 「じぶんらでなんかやってみようや会」開設
- 平成 31年 「じぶんらでなんかやってみようや会」から「Smile Time」に改名
- 平成 31年 マスコットキャラクター「ピッカリちゃん」誕生
- 令和 元年 ピッカリちゃんの相棒「ゲンジくん」誕生
- 令和 3年 旧服部小学校を改修，服部交流館落成

左図・写真の説明等など（PRポイントなども可）

上：服部交流館落成記念行事にて出店しました

服部交流館の落成記念行事で、カフェ&だし屋を出店して地域の方にとっても喜んでもらうことができました。また、式典では司会を担当し、中学生メンバーが緊張しながらも大役を果たすことができました。活動を続ける中で地域の方から声をかけてもらうことが増え、互いにふれあいを楽しんでいます。

下：環境学習の一環としてほたるの放流を行いました

服部の自然を守る会が行うほたるの放流。親ポタルの捕獲や幼虫の飼育など、1年かけて準備しています。



服部川にてほたるの放流

1. 都道府県名	広島県	3. 公民館対象人口	1700人	5. 来館者のインターネット接続環境	無線LAN (Wi-Fi等)
2. 市区町村名	福山市	4. 建物設置年月日	令和3年12月1日	6. 来館者のインターネット接続最大端末数	10台
7. 運営主体	<input type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者 ( ○○地区まちづくり協議会 ) <input checked="" type="checkbox"/> その他 ( 福山市 )				
8. 来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 178人 <input checked="" type="checkbox"/> 貸館, サークル活動 1535人 <input type="checkbox"/> 講演会, 展示会等 <input type="checkbox"/> その他 0人 ( )				合計 1,713人
9. 職員数	<input type="checkbox"/> 専任 0人 <input type="checkbox"/> 兼任 0人 <input checked="" type="checkbox"/> 非常勤 3人 <input type="checkbox"/> ボランティア協力者 0人 ( 職員のうち社会教育主事有資格者の数 0人    職員のうち社会教育士の数 0人 )    合計 3人				
10. 予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄附等 <input type="checkbox"/> その他 ( )				
11. 公民館運営審議会	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> その他 ( 交流館運営委員会 )				
12. 公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 子育て支援 <input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動 <input type="checkbox"/> 子ども食堂 <input checked="" type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画 <input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援 <input type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> ICTの活用 <input checked="" type="checkbox"/> 防災 <input checked="" type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input checked="" type="checkbox"/> ボランティア養成 <input checked="" type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり <input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援 <input type="checkbox"/> 自主夜間中学 <input type="checkbox"/> その他 ( )				
13. 施設の特徴, 魅力	<input checked="" type="checkbox"/> 複合施設 <input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター <input checked="" type="checkbox"/> その他 ( ほたる笑学館 ) <input checked="" type="checkbox"/> 自由記述 ( 移設と同時にほたる笑学館が併設され小学生の環境学習等に利用されている )				
14. 各種事業等で連携・協働している団体等 (団体名記述)	<input checked="" type="checkbox"/> 幼稚園・保育所 <input checked="" type="checkbox"/> 小中学校 <input type="checkbox"/> 高校 <input type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input checked="" type="checkbox"/> 各種団体 <input checked="" type="checkbox"/> 行政機関 <input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 博物館 <input type="checkbox"/> 青少年教育施設 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 駅家北小学校, 駅家中学校, 駅家北学区服部まちづくり推進委員会, 福山市北部地域振興課, 駅家北学区あかるいまちづくり委員会, 駅家北学区服部福祉を高める会, 服部南保育所				

福山市服部交流館

OPEN 8:30~22:00    H P <https://www.city.fukuyama.hiroshima.jp/soshiki/hokubuchiikishinkou/269889.html>  
 TEL (084)978-0810    SNS





## 1. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

地元で唯一の学校である服部小学校が令和2年3月末に閉校になることが決定し、それを受けて「地域から子どもの声が聞こえなくなるのではないかと」、「子どもたちが活動しているところを見れなくなるのが寂しい」という声がたくさん聞かれた。

子どもたちが地域で活動することで地域の方に喜んでもらうこと、**子どもたちが多世代の人と関わる中で互いに学び合える環境**をつくること、また地域のことを考え活動に主体的に取り組む中で、地域への愛着心を醸成することを目的としている。**まちづくり＝人づくりの観点**から、子どもたち自身の創造性・協調性を育て、次世代のまちづくりの担い手としても期待したい。

## 2. 取組内容（力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動、運営の工夫など）

【はっとりGENKIプロジェクト“Smile Time”子どもの体験活動、若者のまちづくり参画】

地域の声を受け、子どもたちの力で地域を盛り上げようと企画したのが「はっとりGENKIプロジェクト“じぶんらでなんかやってみようや会（仮称）”」。活動に愛着を持ってほしいという思いから、**名称も子どもたち自身で選考**した。地域の人たちと笑顔で過ごす時間をたくさん持てますようにと“Smile Time”に決定した。

年度初めに行うミーティングでは、まず今年度やりたいことを**ブレインストーミング方式で意見を出し合い、決定**している。その際、①自分たちが楽しめて（80%）②さらに、地域の人にも喜んでもらえて（18%）③もっと言えば世界中のみんながハッピーになるようなこと（2%）と伝えている。その結果、1年目は敬老会での「のど自慢大会&カフェの出店」、2年目は「落成記念行事でのカフェの出店」、3年目の今年度は「手づくりのおばけやしき」と「謎解き脱出ウォークラリー」に決定。

ほぼ月に1回交流館に集まり、イベント開催に向けての準備を行う。毎回、活動を面白くするためのアイデアを持ち寄ることを宿題としている。

【服部の自然を守る会（地域資源を活用したまちづくり、子どもの体験活動）】

20年以上も続く「服部ほたる祭り」や、小学生の環境学習の一環として行うほたるの放流など、**ほたるを中心に置いたまちづくり**を進めている。



のど自慢大会の準備



落成記念行事では司会に挑戦！

## 3. 取組による成果や効果

- ・地域の方に子どもたちの活動を見たり参加してもらったりして、喜んでもらうことができた。
- ・新聞やテレビに取り上げてもらう機会があり（中国新聞・山陽新聞・ローカルテレビ局の人気番組）、地域外の人にも子どもたちの活動を知ってもらうことができた。
- ・イベントに参加してくれる**小学校低学年の子どもたちが、メンバーが活動する姿を見て早くメンバーに入りたいと楽しみに**してくれている。
- ・毎年同じことをやるわけではないが、前年度の反省点を生かしながら企画を進めるなど、確実に成長を感じられている。
- ・**子どもたちの活動を通じて地域のおとなたちが元気をもらい励み**にもなっている。



アンガールズと一緒に！

## 4. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

地域の各団体の長などで構成する**交流館運営委員会**において事業の報告を行い、各分野からの意見を取り入れてより良い事業が行えるよう改善を図っている。プロジェクトに参画するメンバーの子どもたちに対しては、日常的なコミュニケーションの中で意見やアイデアを聞いたり、年度末のミーティングの際にはアンケートを行ったりして、次回や次年度の事業に活かすようにしている。その他、事業へ参加した方の声やアンケートについても整理し、事業の運営や内容に反映できるように努めている。

## 5. 公民館として大切にしていること、大切にしている考え

まちづくりを楽しく、面白く！やらなければならないではなく、こんなことがしてみたい、あんなことができたなら楽しいだろうな、という一人ひとりの気持ちを大事にしたい。それぞれの得意を活かして、ここにも自分の居場所があると感じてもらえるように、**誰一人取り残さないまちづくり**をめざしたい。



年度初めのミーティング

## 6. これから公民館をどのようにしていきたいか。次の仕掛けやビジョンなど。

今は子どもたちがメインの活動だが、これからさらに参加者の幅を広げたい。今まで交流館やまちづくりにあまり興味のなかった世代を含め、**すべての世代が参加したいと思えるような企画**を子どもたちを中心に進めていきたい。また、デジタル化社会に向かっていく中、まだまだ面白い仕掛けが考えられると思うので、**デジタル技術等も積極的に活用**していきたい。



活動用の看板を作成

# 地域と共に学社融合 本州最西端から魅(見)せる公民館

## 下関市立吉母公民館



恐竜街道アート製作



吉母ふれあいまつり

### 公民館の沿革・年表

- ・昭和53年 吉母(よしも)公民館開設
- ・平成25年 吉母小学校学校運営協議会に参画
- ・平成30年 ご当地かるた完成・ジャンボかるた大会開催
- ・令和4年 下関市社会教育振興大会にて事例発表

### 左図・写真の説明等など (PRポイントなども可)

- 地域活性化事業「毘沙ノ鼻(びしゃのはな)・恐竜街道」吉母海岸で発見された恐竜足跡化石をテーマに、町の数か所に恐竜壁画アートやパネルアートを掲示する取り組み。地区外の福祉施設や、エコアート作家さんも参加。NHKワールドニュースで世界に発信され地域観光活動の一助を担った。
- 地域学校連携事業「吉母ふれあいまつり」学習発表会と地区文化祭を共同開催。子どもが地域の大人と一緒に実行委員で参加し、地域貢献の達成感を実感した。

1. 都道府県名	山口県	3. 公民館対象人口	684人	5. 来館者のインターネット接続環境	無し
2. 市区町村名	下関市	4. 建物設置年月日	昭和53年3月30日	6. 来館者のインターネット接続最大端末数	無し
7. 運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者 ( ) <input type="checkbox"/> その他 ( )				
8. 来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 138人 <input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 398人 <input checked="" type="checkbox"/> 講演会、展示会等 274人 <input checked="" type="checkbox"/> その他 678人 ( 放課後利用、図書室利用、避難所開設 )    合計 1,488人				
9. 職員数	<input checked="" type="checkbox"/> 専任 1人 <input checked="" type="checkbox"/> 兼任 7人 <input checked="" type="checkbox"/> 非常勤 4人 <input type="checkbox"/> ボランティア協力者 0人 ( 職員のうち社会教育主事有資格者の数 0人    職員のうち社会教育士の数 0人 )    合計 12人				
10. 予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input checked="" type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄附等 <input type="checkbox"/> その他 ( )				
11. 公民館運営審議会	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> その他 ( )				
12. 公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 子育て支援 <input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動 <input type="checkbox"/> 子ども食堂 <input checked="" type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画 <input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援 <input type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> ICTの活用 <input checked="" type="checkbox"/> 防災 <input checked="" type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input checked="" type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input type="checkbox"/> ボランティア養成 <input checked="" type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり <input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援 <input type="checkbox"/> 自主夜間中学 <input type="checkbox"/> その他 ( )				
13. 施設の特徴、魅力	<input type="checkbox"/> 複合施設 ( <input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター ) <input checked="" type="checkbox"/> 自由記述 ( 図書室に寄付金によるコーヒーマシンを設置・井戸端会議「吉母カフェ」 )				
14. 各種事業等で連携・協働している団体等 (団体名記述)	<input type="checkbox"/> 幼稚園・保育所 <input checked="" type="checkbox"/> 小中学校 <input type="checkbox"/> 高校 <input checked="" type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input checked="" type="checkbox"/> 各種団体 <input checked="" type="checkbox"/> 行政機関 <input type="checkbox"/> 図書館 <input checked="" type="checkbox"/> 博物館 <input type="checkbox"/> 青少年教育施設 <input checked="" type="checkbox"/> その他 ( 吉母自治連合会、吉見地区まちづくり協議会、民生委員会、吉母小学校、吉見中学校、水産大学校、下関市防災士連絡会、下関市立考古博物館、北九州市立白野江植物公園 )				

### 下関市立吉母公民館

OPEN 9:00~17:00(22:00) H P

T E L 083-286-6226

SNS <https://www.youtube.com/channel/UCJQjAR8YZSFf29Ga2kUc5ig>





## 1. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

- 吉母地区は、人口減少による**少子高齢化が最大の地域課題**である。全校児童7名の吉母小学校。高齢化した自治会・長寿会などの地域団体との連携の在り方。公民館活動への参加者は固定化し、減少の一途を辿っている。
- 地区文化祭は「公民館まつり」の愛称で親しまれてきた地域最大級のイベント。日頃の学習成果の発表、地域交流の場であるが、年々参加者・観覧者ともに減少し、**新しい企画や運営方法の工夫**などが求められていた。

## 2. 取組内容（力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動、運営の工夫など）

### 【毘沙ノ鼻・恐竜街道事業（地域資源を活用したまちづくり）】

①本州最西端の地・毘沙ノ鼻（びしゃのはな）②旅する蝶アサギマダラの飛来地 ③日本最古の恐竜足跡化石発見の地など、地域資源が豊かで魅力ある町という特徴を、**小学校の地域学習**に展開。子どもたちが地域への愛着心を深め、**学んだことを地域の人に伝え**、保護者以外の住民と交流することで、**地域住民の活力**につなげる。



毘沙ノ鼻公園花壇整備  
アサギマダラ飛来準備

### 【学社融合の教育実践～吉母ふれあいまつり～（地域学校協働活動）】

小さい公民館で行っていた文化祭を、広い小学校を利用することで**3密リスクを回避**。子どもが実行委員として関わる事で、**地域貢献の達成感**につなげる。

### 【地域で子どもを見守る～地域ふれあい活動～（子どもの体験活動・健康づくり）】

児童クラブが無い地域なので、**放課後の居場所づくり**に力を入れている。

市の出前講座などを活用した、地域ふれあい活動を開催。

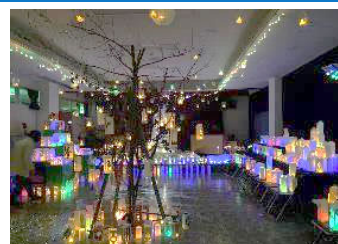
また、店舗も無いので、気軽に井戸端会議ができる憩いの場所「**吉母カフェ**」を提供。生涯学習のきっかけづくり、ニーズの聞き取りなど、**地域課題の情報収集**に努めている。



地域ふれあい活動  
クリスマスケーキを作ろう

## 3. 取組による成果や効果

- 活動を屋外で行うことにより、**地域の皆さんの目にとまり関心**を寄せていただいた。
- 新聞、テレビ、ラジオなどのメディア発信、SNS発信**などを積極的に活用したことで、**地域交流の輪が広がり**、地域外、県外からの来訪者が増加した。
- イベント集約化によりPTA・役員の負担軽減で**持続可能なボランティア活動**の実現。
- 牛乳パックなどで作ったエコランタンで**公民館をライトアップ**し、夜まで開館したことで、**来館者数が増加**した。
- 公民館と小学校の交流時間が増えた事で、子ども、保護者の来館時間が増加した。
- 地域の方が、子ども達のため、自身の健康のためにと、気軽に立ち寄る時間が増加した。



吉母ふれあいまつり  
キャンドルナイト

## 4. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

- 自治会関係者、学校関係者等で構成する公民館運営審議会を開催。
- 地域学校協働活動に関しては、吉母小学校学校運営協議会に委員として参加。
- 全戸配布の公民館だよりで告知と報告。ホームページ、Youtubeなどで活動状況を公開し意見を求め活動指針としている。
- イベント毎にアンケートを実施。反省会議事でフィードバック。次回企画時の参照項目としている。

## 5. 公民館として大切にしていること、大切にしている考え

公民館の役割である「つどう」「まなぶ」「むすぶ」に対して、大切にしていること3点。

- 【1.つどう】複数の手段で**情報を発信**し、気付いてもらう、興味を持ってもらうこと。
- 【2.まなぶ】**生涯学習**は「自分らしく生きるための武器である」と伝え、多様なニーズに応えること。
- 【3.むすぶ】地域活動や学校行事に自らが参加し、**地域ネットワーク**を構築すること。



地域清掃奉仕活動

## 6. これから公民館をどのようにしていきたいか。次の仕掛けやビジョンなど。

地域住民の「地域を盛り上げたい」というニーズをカタチにして、情報発信などで可視化すること。少子高齢化による独居世帯の孤立化、地域のつながり希薄化、若手リーダーの育成などの、地域課題について、社会教育という立場・役割で、**地域とともに活動できる公民館**でありたい。



ジャンボかるた大会



# 高齢化、コロナ禍、デジタル化に適応する学びの拠点

## 周南市 中須市民センター



しめ飾りづくり



ノースキッズ風景

### 公民館の沿革・年表

- ・平成 8年 3月 中須公民館として現在地に新築
- ・平成21年 4月 放課後子供教室開講
- ・平成24年 4月 中須小・中学校運営協議会に参加
- ・平成25年 3月 放課後子供教室終了(児童数減少)
- ・平成29年 4月 中須小・中学校の休校に伴い、沼城小・須々万中学校運営協議会に参加
- ・平成30年 4月 中須公民館が中須市民センターへ移行
- ・令和 2年11月 **山口県公民館報コンクール 奨励賞受賞**
- ・令和 2年12月 **軽トラ市開催(市民センター新規の事業)**

### 左図・写真の説明等など (PRポイントなども可)

- しめ飾りづくり講座  
民生委員や小学校と協力して、地域の高齢者の持つ技術子ども達に継承するために一緒に飾りづくりを実施した。教職員・子ども・地域住民で**地域学校協働活動**として取り組んだ。
- 小・中学生向け 6地区合同夏休み講座『ノースキッズ』  
『学校で学べない体験学習』をモットーに夏休みに毎年実施している体験学習講座。カヌーの体験とパン作り体験をセットにして開催。野外活動に工夫を凝らして**ソーシャルディスタンスを確保し、自然体験、食育体験とコロナ対策を両立した。**

1. 都道府県名	山口県	3. 公民館対象人口	618人	5. 来館者のインターネット接続環境	無し
2. 市区町村名	周南市	4. 建物設置年月日	平成8年3月4日	6. 来館者のインターネット接続最大端末数	—
7. 運営主体	<input type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者 ( ) <input checked="" type="checkbox"/> その他 ( 市長部局(地域づくり推進課) )				
8. 来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 149人 <input checked="" type="checkbox"/> その他 500人 ( コミュニティバスの待合室、居場所としての来館等 )	<input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 742人 <input type="checkbox"/> 講演会、展示会等	<b>合計 1,391人</b>		
9. 職員数	<input checked="" type="checkbox"/> 専任 1人 <small>( 職員のうち社会教育主事有資格者の数 0人 )</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 兼任 1人 <small>( 職員のうち社会教育士の数 0人 )</small>	<input type="checkbox"/> 非常勤 0人	<input type="checkbox"/> ボランティア協力者 0人	<b>合計 2人</b>
10. 予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄附等 <input type="checkbox"/> その他 ( )				
11. 公民館運営審議会	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> その他 ( 市民センター運営連絡会議 )				
12. 公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input type="checkbox"/> 子育て支援 <input type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画 <input checked="" type="checkbox"/> ICTの活用 <input type="checkbox"/> ボランティア養成 <input checked="" type="checkbox"/> その他 ( SDGs )	<input type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり <input type="checkbox"/> 防災 <input checked="" type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援	<input type="checkbox"/> 子ども食堂 <input type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input type="checkbox"/> 自主夜間中学	
13. 施設の特徴、魅力	<input checked="" type="checkbox"/> 複合施設 ( <input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター ) <input checked="" type="checkbox"/> その他 ( 市役所支所、保育園、診療所併設 ) <input checked="" type="checkbox"/> 自由記述 ( 高齢化率約60%の地域でも学びの機会を提供し、住民が集う市民センター )				
14. 各種事業等で連携・協働している団体等 (団体名記述)	<input checked="" type="checkbox"/> 幼稚園・保育所 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 図書館	<input checked="" type="checkbox"/> 小中学校 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> 博物館	<input type="checkbox"/> 高校 <input checked="" type="checkbox"/> 各種団体 <input checked="" type="checkbox"/> 青少年教育施設	<input type="checkbox"/> 大学 <input checked="" type="checkbox"/> 行政機関 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 沼城小学校、須々万中学校、中須保育園、中須をよりよくなる会、中須地区自治会連合会、中須地区社会福祉協議会、中須地区体育振興会、棚田清流の会、大田原自然の家、周南市教育委員会 等

### 周南市中須市民センター

OPEN 8:30~22:00  
TEL 0834-89-0301

H P <https://www.city.shunan.lg.jp/map/nakazu.html>  
SNS <http://shunan-chiikijoho.jp/council/nakasu/>





## 1. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

### ●きっかけ

支所・市民センター窓口で**高齢者が度々『スマホの使い方を教えてほしい』と来所**されたこと  
 コロナ禍に伴う、社会活動・地域活動の停止・縮小、オンライン化への移行  
 人口減・高齢化に伴う、施設来所者・利用人数の減少  
 地区内での**デジタル弱者とSNSを駆使する世代との地域活動への意見の乖離**(情報受信・発信)

## 2. 取組内容（力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動、運営の工夫など）

### 【デジタル弱者支援『スマホ講座シリーズ』の開催(高齢者の学び支援)】

複数の住民が『スマホの使い方が分からないから教えてほしい』と尋ねてきたことを契機に市民センター講座生や地区コミュニティ関係者に聞いてみると、同じ悩みを抱える住民が60歳以上を中心に多数いた。さらに、要因を紐解くと①市街地が遠く、携帯ショップに度々はいけない②子、孫に聞くのは嫌がられて聞きづらい③コロナ禍になり、遠隔地の家族・知人とオンラインでコミュニケーションを取りたいということが分かった。解決策として、**身近な市民センターで顔馴染みの職員から操作指導**を行う手法が有効だと判断し、講座を開講した。

### 【市の政策と連動・時代の流れに合わせた講座の展開(ICTの活用)】

スマホ講座をシリーズ化、第二弾『キャッシュレス決済講座』を**市のスマホ決済20%還元キャンペーンに合わせて実施**し、デジタル弱者である高齢者も利用できる環境を整えた。マスメディア等で頻繁に取り上げられるSDGsに着目し、ほぼ**中須産の素材のみを使用した『エコな箸づくり』**の体験会と市の脱炭素化等SDGsに関わる政策(水素利活用やバイオマス発電)を紹介する講演をセットで実施し、住民の環境に対する意識啓発を図った。

### 【市民センター館報の大幅リニューアルと紙面増による地域情報の発信強化(その他)】

館報(毎月発行)を大幅リニューアルした。①隔月で紙面の倍増②QRコードでネットで紙面確認可能に③特集シリーズの掲載④**館報と講座の連動**等で地域への関心を増やした。



スマホ講座指導風景



キャッシュレス決済講座

## 3. 取組による成果や効果

- デジタル弱者がある程度(LINEや地図、決済アプリ等)スマホを使用できるようになった。キャッシュレス講座では**高齢者のハードルを下げ、還元キャンペーンの活用を可能**にした。
- 住民のうち、高齢者がSDGsやスマホ等に興味を持つようになった。具体的には、箸を来年は自作したいので種を持って帰って近隣に配りたいという要望があったり、スマホでマイナポイントやワクチン接種証明アプリの使い方を**自分で調べて、質問しに来られる**ようになった。
- 館報に載せた地域情報や過去の写真特集を通じて、住民や関係者の**交流活発化や地域への愛着の醸成**に繋がった。過去の写真では昔を懐かしんだり、地区を出た**20~30代の若者のSNS上でも話題**になった。地域情報で魅力の再発見があったと感想をもらった。



コキアの箸作り教室

## 4. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

- 講座受講者や市民センター定期講座生から**アンケートや聞き取りで感想や疑問を吸い上げ**、次回以降の新設講座の企画内容を考えたり、シリーズ企画の第二弾、第三弾では前回の内容の補完を行うようにしている。
- デジタル弱者などは市内他地区でも同様の問題を抱えている為、『スマホ講座シリーズ』の**教材や指導法をパッケージ化**して、他地区でも同様の取り組みを行えるようにし、そこで得た感想・フィードバックを中須地区の次回講座内容に還元している。

## 5. 公民館として大切にしていること、大切にしている考え

生涯学習や地域での活動の主体はあくまで住民本人であり、中須市民センターは一人一人が**自発的な学習活動に取り組む**ための『環境づくり』『きっかけづくり』をする為に講座開設や質問対応を行っている。そして、学習活動・地域活動を続けるために**住民に寄り添ったサポート**を実施し、いつまでも安心して暮らし続けられる地区及び市民センターを目指している。



スマホ講座シリーズチラシ

## 6. これから公民館をどのようにしていきたいか。次の仕掛けやビジョンなど。

人口減少や子どもの地区離れに歯止めがかからない中でも、**学びの『きっかけづくり』の拠点**としての機能を拡充したい。特に**住民と『同じ目線に立って』**実施する講座と一緒に学習に取り組んでいきたい。そのための仕掛けとして、これから住民からのニーズがある『終活講座』や『一人暮らしの料理講座』等を『**顔なじみの職員**』が**指導**するために資格等を取得し、講座に活用したい。



住民と同じ目線で歩む

# ワンチーム！ありほ

# 山陽小野田市有帆地域交流センター



「有帆市まつり」 子どもみこしの様子



公民館クラブ員

地域住民・保護者

全校児童

公民館 & 小学校合同学習フェスタの様子

## 公民館の沿革・年表

- ・昭和58年 有帆公民館（福社会館併設）開設
- ・平成7年 有帆コミュニティ体育館開館
- ・平成8年 優良公民館として文部大臣表彰受賞
- ・平成21年 地域委託型公民館運営
- ・平成27年 市教育委員会直営方式公民館運営
- ・令和元年 山口県公民館報コンクール奨励賞を受賞
- ・令和2年 山口県公民館報コンクール優秀賞を受賞
- ・令和3年 山口県公民館報コンクール優秀賞を受賞
- ・令和4年 有帆地域交流センターとして業務開始

## 左図・写真の説明等など（PRポイントなども可）

- 江戸時代から継承されている「有帆市まつり」は地域の皆さんが協力して支えている伝統的な行事です。毎年5月の第2日曜日に有帆公民館で開催され、別府八幡宮の汐搔き祭の神事も行われ、多くの地域住民の皆さんが楽しみにされているまつりで、未来へ継承していくべき地域行事となっています。
- 公民館クラブ員と有帆小学校児童が日ごろの学習成果を披露する年に一度の有帆の学びの祭典です。ここでは、公民館クラブ員と小学校児童、地域住民、保護者の皆さんが一体となっている様子です。（有帆コミュニティ体育館にて）

1. 都道府県名	山口県	3. 公民館対象人口	3617人	5. 来館者のインターネット接続環境	無し
2. 市区町村名	山陽小野田市	4. 建物設置年月日	昭和58年4月1日	6. 来館者のインターネット接続最大端末数	—
7. 運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者 ( ) <input type="checkbox"/> その他 ( )				
8. 来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 5609人 <input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 16590人 <input type="checkbox"/> 講演会、展示会等 <input checked="" type="checkbox"/> その他 2005人 ( 地域団体運営会議、公民館運営会議 等 )			合計	24,204人
9. 職員数	<input checked="" type="checkbox"/> 専任 2人 <input type="checkbox"/> 兼任 0人 <input type="checkbox"/> 非常勤 0人 <input type="checkbox"/> ボランティア協力者 0人 ( 職員のうち社会教育主事有資格者の数 0人 職員のうち社会教育士の数 0人 )			合計	2人
10. 予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄附等 <input type="checkbox"/> その他 ( )				
11. 公民館運営審議会	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> その他 ( 有帆公民館運営協議会 )				
12. 公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 子育て支援 <input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動 <input type="checkbox"/> 子ども食堂 <input type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画 <input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援 <input type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> ICTの活用 <input checked="" type="checkbox"/> 防災 <input checked="" type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input checked="" type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input type="checkbox"/> ボランティア養成 <input checked="" type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり <input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援 <input type="checkbox"/> 自主夜間中学 <input checked="" type="checkbox"/> その他 ( 公民館だよりの発行 )				
13. 施設の特徴、魅力	<input type="checkbox"/> 複合施設 <input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター <input type="checkbox"/> その他 ( ) <input type="checkbox"/> 自由記述 ( )				
14. 各種事業等で連携・協働している団体等 (団体名記述)	<input type="checkbox"/> 幼稚園・保育所 <input checked="" type="checkbox"/> 小中学校 <input type="checkbox"/> 高校 <input type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input checked="" type="checkbox"/> 各種団体 <input checked="" type="checkbox"/> 行政機関 <input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 博物館 <input type="checkbox"/> 青少年教育施設 <input type="checkbox"/> その他 ( 有帆ふるさとづくり協議会、有帆地区自治会協議会、有帆地区社会福祉協議会、有帆セーフティネットワーク、有帆地区人権教育推進協議会 等 )				

山陽小野田市有帆地域交流センター

OPEN 9:00~22:00

TEL 0836-84-4090

H P <https://www.city.sanyo-onoda.lg.jp/site/arihokuminkan/>

SNS





## 1. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

- 生涯学習の場、地域づくりの拠点となる公民館運営を展開するため、地域課題や住民ニーズに応じ、積極的な事業に取り組みとともに、**地域による館運営**を目指し地域づくりを推進する。また、公民館が地域学校協働活動の第2コーディネーターとして学校・家庭・地域及び市長部局と連携・協働して「人づくり」「地域づくり」を実践し、**持続可能な地域社会**の実現を目指す。
- 小学校及び公民館がそれぞれ開催していた文化祭は、少子高齢化の影響を受け単独開催が難しくなっていたが、小学校や関係者との協議を重ね合同で開催することとなった。

## 2. 取組内容（力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動、運営の工夫など）

【**小学校との合同学習フェスタ(地域学校協働活動)**】公民館クラブと有帆小学校が合同で学習フェスタを開催することにより、地域と小学校と保護者の連帯感を高め、これからの学校と地域の連携・協働活動を推進している。また、企画、運営を公民館クラブ員と公民館運営協議会委員、小学校育友会が主体となって実施することで**人と人のつながり**、**地域の絆**を深めるイベントとなっている。

【**まなびト・ふれ愛カフェ(地域資源を活用したまちづくり)**】従来の授業形式で話を聞く学びの場だけでなく、**学びとふれあいの場**として、カフェでお茶をするように気楽に楽しく講師や参加者と意見を交わし、1人1人が主体的に参加できる全員参加型の講座を目指している。**地域より企画員を募り企画会**を開催、色々な目線で意見やアイデアを出していただき、それらを形にしている。これまでに、地域を歩き減災マップを作る企画や《地域に残る年中行事を知り、未来に繋ぐには》を皆で考える企画など地域課題の解決につながるものも生まれた。

【**公民館・地域情報のPR(公民館だよりの発行)**】地域のつながりの希薄化が進む昨今、公民館活動や地域行事、人、歴史等について興味・関心を持ってもらい、地域社会への参加を後押しするとともに、**愛郷心を育む**。**地域の編集委員の協力**により、地域の情報・出来事を積極的に掲載し、個人の写真やコメントを各所に掲載、**地域の人となり**が伝わり、**地域の人を身近に感じるとともに**、取材等を通じて多くの方とのつながりを構築している。



企画会の様子



公民館だより「ありほ」

## 3. 取組による成果や効果

- 合同学習フェスタは、小学校への訪問や児童との触れ合う機会が増えたことにより、**世代間交流の一助及び高齢者の生きがい**につながった。また、一過性の取組に留まらず、フェスタをきっかけに小学校の授業が公民館クラブ生の**学びの成果の定期的な還元**の場となるとともに、山陽小野田音頭の指導など、新たな取組へとつながっている。
- ふれ愛カフェにおいては、**自由に意見や想いを発言できる場**となり、受講者のコミュニケーションの範囲が広がるとともに、それぞれの問題等に対して**受講者間で熟議**を行い解決策を見出している。
- たよりの取材や活動を通して、**地域住民がふるさと有帆を意識する**ようになり、地域行事への再認識及び参加者の増加、また、「人と人のつながりづくり」が一步前進している。



企画会からできた防災さんぽの様子

## 4. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

- 公民館運営協議会、地域組織（地区自治会協議会、ふるさとづくり協議会、地区社会福祉協議会等）と地域の課題について協議し公民館事業に反映している。
- 公民館事業については、各事業終了後に振り返りを行い、次回の改善点に対応している。
- 今後は校区内へのアンケート調査を実施するなど、来館していない方への呼びかけにも取り組んでいく。

## 5. 公民館として大切にしていること、大切にしている考え

- 地域の人と人の「つながりやふれあいの場」としての、公民館の事業展開に心がけている。
- 公民館前の花壇を「**ふれ愛ガーデン**」として花いっぱい運動を展開し、公民館利用者に憩いの場を提供するとともにコミュニケーションのツールとして活用している。
- 地域住民と行政のパイプ役**との認識から、あらゆる事案の問い合わせに対応している。



花壇ボランティアの皆さんと

## 6. これから公民館をどのようにしていきたいか。次の仕掛けやビジョンなど。

- 子育てや防災、健康づくり、ICTの活用といった現代課題の「学び」を展開していくとともに、地域学校協働活動のコーディネーターとして学校・家庭・地域の連携協働の取組を推進する。
- 地域住民自ら**が地域課題として捉えたテーマの「学び」に取り組み、参画意識を高めることで地域住民・団体の**自主性・主体性**を育みながら住民主体のセンター運営を推進していく。



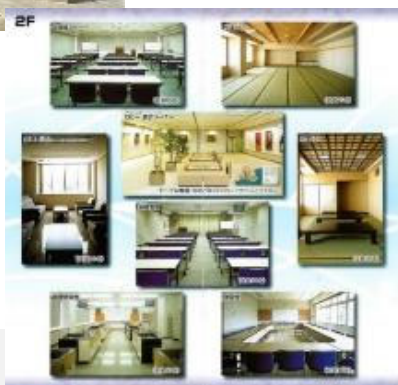
自治会館にて出前講座

# こころ豊かな人間性の育成

## 松茂町公民館



◀ 松茂町総合会館



松茂町総合会館内部 ▶

### 公民館の沿革・年表

- 昭和27年7月 松茂町広島字一番越 松茂村公民館設置
- 昭和44年9月 松茂町広島字東裏 松茂町福祉センター内に松茂町公民館設置
- 昭和55年 町教育委員会主催により松茂町文化祭が始まる
- 昭和59年 松茂町文化協会発足
- 平成元年7月 松茂町総合会館完成(RC4階建て 全館防音仕様3,942㎡:1階庁舎787㎡・図書館420㎡、**2階公民館1,288㎡**、3・4階 コミュニティセンター1,447㎡)

### 左図・写真の説明等など（PRポイントなども可）

松茂町公民館は、平成元年に建築された松茂町総合会館2階部分の会議室2室、視聴覚室、実習室、和室2室、調理実習室などで構成している。

通常の公民館の設置形態は、中央公民館と分館を置き、専任公民館長を教育長が任命するが、松茂町の場合は人口規模、行政規模からみて、教育長が館長を兼務し、社会教育全体の中に位置づけて活動している。

平成14年からは地域の人材バンクを活用し子ども体験活動に取り組み始めた。

1. 都道府県名	徳島県	3. 公民館対象人口	14,722	5. 来館者のインターネット接続環境	無線LAN (Wi-Fi等)
2. 市区町村名	松茂町	4. 建物設置年月日	平成元年	6. 来館者のインターネット接続最大端末数	-
7. 運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者 (○○地区まちづくり協議会) <input type="checkbox"/> その他 ( )				
8. 来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 1469人 <input type="checkbox"/> その他 0人 ( )	<input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 300人	<input checked="" type="checkbox"/> 講演会、展示会等 361人	合計	2,130人
9. 職員数	<input type="checkbox"/> 専任 0人 ( 職員のうち社会教育主事有資格者の数 0人 )	<input checked="" type="checkbox"/> 兼任 3人	<input checked="" type="checkbox"/> 非常勤 2人	<input type="checkbox"/> ボランティア協力者 0人 職員のうち社会教育士の数 0人 )	合計 5人
10. 予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄附等 <input type="checkbox"/> その他 ( )				
11. 公民館運営審議会	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> その他 ( )				
12. 公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input type="checkbox"/> 子育て支援 <input type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動 <input type="checkbox"/> 子ども食堂 <input type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画 <input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり <input type="checkbox"/> 高齢者の学び支援 <input type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input type="checkbox"/> ICTの活用 <input type="checkbox"/> 防災 <input checked="" type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input checked="" type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input type="checkbox"/> ボランティア養成 <input type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり <input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援 <input type="checkbox"/> 自主夜間中学 <input type="checkbox"/> その他 ( )				
13. 施設の特徴、魅力	<input checked="" type="checkbox"/> 複合施設    ( <input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input checked="" type="checkbox"/> 生涯学習センター ) <input checked="" type="checkbox"/> その他 ( コミュニティセンター ) <input type="checkbox"/> 自由記述 ( )				
14. 各種事業等で連携・協働している団体等(団体名記述)	<input type="checkbox"/> 幼稚園・保育所 <input checked="" type="checkbox"/> 小中学校 <input type="checkbox"/> 高校 <input type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input checked="" type="checkbox"/> 各種団体 <input type="checkbox"/> 行政機関 <input checked="" type="checkbox"/> 図書館 <input checked="" type="checkbox"/> 博物館 <input type="checkbox"/> 青少年教育施設 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 地元等地域のボランティアの皆様				

### 松茂町公民館

OPEN 9:00～21:30    H P <https://www.town.matsushige.tokushima.jp/docs/2018053100019/>  
 TEL 088-699-8719    SNS



## 1. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

平成4年から段階的に「学校週五日制」が導入され、松茂町では、その円滑・有益な実施を目的として公立幼小中学校長や各PTA会長ら町内教育関係者により平成8年に松茂町学校地域教育推進協議会が設立された。同協議会では、平成9年に町内児童生徒とその保護者を対象とした「完全週五日制に向けてのアンケート」を実施した結果、休日となる土曜日に、家庭・地域で体験しながら学ぶ機会が不足していることがわかった。このため、平成14年から地域で「豊かな心を育む運動」を充実させるため、ボランティアの人材バンクを設置するとともに子ども体験活動の取組が開始されたものである。

## 2. 取組内容（力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動、運営の工夫など）

### ○子ども体験活動

子ども体験活動は、子どもカルチャー教室、親子ものづくり教室、子ども自然探検隊などを開催している。平成14年に、親子木工教室、折り紙教室、囲碁・将棋教室、マジック教室などの開催からスタートした。

### ○子どもカルチャー教室

現在、地域の方々のご協力をいただきながら、茶道、折り紙、将棋、かるた、生花の各教室、親子もの作り教室では、おもしろ実験、科学工作、竹細工、フラワーアレンジメント、うどん作り、凧揚げの各講座、子ども自然探検隊では、小川・海辺の生物調べ、夏・冬の天文調べ、野鳥や野草調べなどのメニューで開催し、17講座44回の開催、親子で参加者は449名にのぼる。



自然探検隊：水路の生き物調べ



子どもカルチャー：生花教室、茶道教室

## 3. 取組による成果や効果

子ども体験活動事業は児童保護者に人気の事業となっており、地域の魅力を子どもたちに伝え、地域愛を育む事業として一定の成果を上げている。講師や指導者にも地域のボランティアの方々が多数関わっており、世代間の交流が図られている。



親子ものづくり教室：竹細工

## 4. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

松茂町教育委員会評価委員会において、社会教育活動の一環として公民館事業の評価を受け、事業の進捗管理や改善策等の検証がなされている。

## 5. 公民館として大切にしていること、大切にしている考え

本町においても少子高齢化の煽りを受け、青少年活動のみならず生涯教育事業も含め、公民館活動への人材の確保が課題となっていることから、今後の指導者やリーダー育成に力を注いでいる。

また、松茂町を愛するところの育成という点からも、活動を通じ、家庭・地域・学校・教育委員会の連携の一翼を担えるような事業展開を心がけている。



自然探検隊：天文調べ

## 6. これから公民館をどのようにしていきたいか。次の仕掛けやビジョンなど。

松茂町公民館活動において、子ども体験活動などの青少年活動事業、生涯教育事業を通して、今後についても現在の地域との連携により一体となった取組を継続し、さらなる展開を図っていく。



子どもカルチャー：将棋教室

# みんなが笑顔でつどう公民館

## 徳島市昭和公民館



「昭和公民館学習発表会」の様子



「ふれあいサロン」の様子

### 公民館の沿革・年表

- 昭和25・4 徳島市中昭和町5丁目60番地、昭和小学校内に昭和公民館創立
- 昭和36・5 徳島市中昭和町4丁目49番地に移転
- 昭和61・5 昭和地区コミュニティ推進協議会（現 昭和コミュニティ協議会）との複合館として昭和コミュニティセンター内に移転
- 平成25・11 徳島市中昭和町3丁目81番地へ移転

### 左図・写真の説明等など（PRポイントなども可）

「昭和公民館学習発表会」  
毎年3月に1年間の学習の成果を発表する場として、昭和公民館学習発表会を開催している。

「ふれあいサロン」を共催  
民生委員児童委員協議会と共催し、「ふれあいサロン」を開催している。ゲームをしたり、お茶を飲みながらおしゃべりしたり、いろいろな人とふれあえる時間は高齢者の方々の憩いの場となっている。夏休みは子どもたちも参加している。

1. 都道府県名	徳島県	3. 公民館対象人口	9959人	5. 来館者のインターネット接続環境	無し
2. 市区町村名	徳島市	4. 建物設置年月日	昭和25年	6. 来館者のインターネット接続最大端末数	0台
7. 運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者（ <input type="checkbox"/> 地区まちづくり協議会） <input type="checkbox"/> その他（ <input type="checkbox"/> ）				
8. 来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 2178人 <input type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 0人 <input checked="" type="checkbox"/> 講演会、展示会等 803人 <input checked="" type="checkbox"/> その他 96人（成人式）				合計 3,077人
9. 職員数	<input checked="" type="checkbox"/> 専任 1人 <input type="checkbox"/> 兼任 0人 <input checked="" type="checkbox"/> 非常勤 1人 <input type="checkbox"/> ボランティア協力者 0人 （職員のうち社会教育主事有資格者の数 0人    職員のうち社会教育士の数 0人）    合計 2人				
10. 予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄附等 <input type="checkbox"/> その他（ <input type="checkbox"/> ）				
11. 公民館運営審議会	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> その他（ <input type="checkbox"/> ）				
12. 公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 子育て支援 <input type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動 <input type="checkbox"/> 子ども食堂 <input type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画 <input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援 <input type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input type="checkbox"/> ICTの活用 <input checked="" type="checkbox"/> 防災 <input type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input type="checkbox"/> ボランティア養成 <input type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり <input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援 <input type="checkbox"/> 自主夜間中学 <input checked="" type="checkbox"/> その他（高齢者の居場所づくり・人づくり）				
13. 施設の特徴、魅力	<input checked="" type="checkbox"/> 複合施設 <input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター <input checked="" type="checkbox"/> その他（コミュニティ協議会・児童館） <input type="checkbox"/> 自由記述（ <input type="checkbox"/> ）				
14. 各種事業等で連携・協働している団体等（団体名記述）	<input checked="" type="checkbox"/> 幼稚園・保育所 <input checked="" type="checkbox"/> 小学校 <input type="checkbox"/> 高校 <input type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input checked="" type="checkbox"/> 各種団体 <input type="checkbox"/> 行政機関 <input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 博物館 <input type="checkbox"/> 青少年教育施設 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 昭和小学校・昭和幼稚園・昭和保育所・育英子ども園・みずほ保育所・昭和児童館・昭和地区民児協・昭和婦人会・更生保護女性会昭和支部・昭和地区社会福祉協議会・保護司会				

### 徳島市昭和公民館

OPEN 9時～17時（22時）    H P  
TEL 088-623-1971    SNS



## 1. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

昭和公民館が所在する徳島市昭和地区は、かつては塩田が多くを占め、お寺が一寺もなく、文化財や歴史的な建造物も数少ない地域である。しかし、住民の意識は高く、学習等には積極的に参加している。人生100年時代の名のとおり、80歳を超えた方が多く活動に参加している。参加者同士のつながりも深く、高齢者同士だからこそ少しの体調の変化にも気付き、互いの健康を思いやっている。一方、男性や若・中年層の参加者が少なく、その年代に興味をもってもらえる講座を企画し、働きかけることが課題となっている。

## 2. 取組内容（力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動、運営の工夫など）

### ○ 高齢者の生きがいづくり・健康づくり

阿波踊り体操（週3回）・いきいき百歳体操（週2回）・転倒防止を目的とした**フラ体操（週1回）**などの健康づくりに加え**ピアノカ&大正琴（週1回）**・童謡を歌いましょう・手芸の会・折り紙の会（月1回）などを開催し、公民館に足を運ぶ機会をできるだけ多く設けている。



「新聞紙ドーム」

### ○ 子どもの居場所づくり

夏休みには、お楽しみ会・おばけやしき・新聞紙ドーム・親子手打ちうどん教室。秋には地域の幼稚園・保育所・こども園の子ども達を招いてのおはなし会などを開催している。

### ○ 新規事業として、ウクレレ教室を開設

講師が東京在住のため、月に一度の対面レッスン・**リモートレッスン**（コミュニティセンターにて）を開催し、現在は3クラスになっている。80歳を過ぎて初めて楽器を手にした方も多く、50の手習いならぬ80の手習いを楽しんでいる。5月の学習発表会では、初めて3クラスが顔を合わせ一緒に演奏した。人気があり、問い合わせが絶えず、現在4クラス目の開設を検討中である。



発表会での「ウクレレ教室」

## 3. 取組による成果や効果

○ いろいろな講座・教室に参加することによって、参加者同士がつながり合い、他の活動などでも協力しあえるような関係が築けている。

○ 公民館と参加者の間で信頼関係ができ、地域の他団体の活動においても連携して取り組むことができるようになっている。



「ばあばあフラ」

## 4. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

どの講座も若い参加者が少ない。主事が在館する時間帯に教室等をしているため、子育て中や勤めている年代の方は、興味があっても参加することが時間的に難しいと思われる。そのため、今後コミュニティ協議会と統合するにあたり、交代勤務にするなどして、このような点も改善していきたい。また、若・中年層の方々がどのようなことに興味をもち、学びたいと思っているのかを見極めて講座を考えていきたい。

## 5. 公民館として大切にしていること、大切にしている考え

地域の人のつながりを大切にしている。**講座等の参加者の意見を聞き、また次も来たいと思ってもらえるような教室運営を目指していきたい。**



地域の方々との交流

## 6. これから公民館をどのようにしていきたいか。次の仕掛けやビジョンなど。

令和5年度には、昭和コミュニティ協議会と統合する予定である。これまでも共催してきたが、これからはより**活動の幅を広げ、地域の広い年代の人たちに参加してもらえるような活動**をしていきたい。



地域文化祭



# 公民館 de あそぼう！

## 西条市神拝公民館



公民館de遊ぼう



神拝学

### 公民館の沿革・年表

- ・昭和47年 旧西条市に公民館が設置される
- ・昭和54年 市民センター内中央公民館併設で移転
- ・平成6年 神拝公民館新築
- ・平成7年 第1回神拝公民館文化祭開催
- ・平成27年 放課後子ども教室開講
- ・平成29年 地域未来塾開講
- ・令和元年 神拝学開講
- ・令和2年 おげんきさん体操開始
- ・令和3年 公民館 de 遊ぼう開催

### 左図・写真の説明等など（PRポイントなども可）

- 公民館 de 遊ぼうの様様（令和4年1月の行事）  
地域ボランティアの高齢者の方と子どもたちが、本を読んだり読まれたりする読み合い会。「上手に読めるね！」と言われて照れている子もいるなど、微笑ましい様子が見られた。
- 神拝学の様様  
シビックプライド醸成のための講座の様子。西条自然学校講師と一緒に、アクトピア水系の散策を行い、地域の自然を残す大切さを学んだ。

1. 都道府県名	愛媛県	3. 公民館対象人口	13702人	5. 来館者のインターネット接続環境	無線LAN (Wi-Fi等)
2. 市区町村名	西条市	4. 建物設置年月日	平成6年6月30日	6. 来館者のインターネット接続最大端末数	10台
7. 運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者 ( ) <input type="checkbox"/> その他 ( )				
8. 来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 808人 <input type="checkbox"/> その他 0人 ( )	<input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 14996人 <input checked="" type="checkbox"/> 講演会、展示会等 1,193人	合計 16,997人		
9. 職員数	<input type="checkbox"/> 専任 0人 <input type="checkbox"/> 兼任 0人 <input checked="" type="checkbox"/> 非常勤 4人 <input type="checkbox"/> ボランティア協力者 0人 <small>( 職員のうち社会教育主事有資格者の数 0人    職員のうち社会教育士の数 0人 )</small>	合計 4人			
10. 予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄附等 <input type="checkbox"/> その他 ( )				
11. 公民館運営審議会	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> その他 ( 公民館協力委員会 )				
12. 公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input type="checkbox"/> 子育て支援 <input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 子ども食堂 <input type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画 <input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援 <input type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> ICTの活用 <input checked="" type="checkbox"/> 防災 <input checked="" type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input type="checkbox"/> ボランティア養成 <input type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり <input checked="" type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援 <input type="checkbox"/> 自主夜間中学 <input type="checkbox"/> その他 ( )				
13. 施設の特徴、魅力	<input type="checkbox"/> 複合施設 ( <input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター ) <input checked="" type="checkbox"/> 自由記述 ( 地域の中心部にあり、子どもから高齢者まで利用しやすい )				
14. 各種事業等で連携・協働している団体等 (団体名記述)	<input type="checkbox"/> 幼稚園・保育所 <input checked="" type="checkbox"/> 小中学校 <input checked="" type="checkbox"/> 高校 <input type="checkbox"/> 大学 <input checked="" type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input checked="" type="checkbox"/> 各種団体 <input checked="" type="checkbox"/> 行政機関 <input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 博物館 <input type="checkbox"/> 青少年教育施設 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <small>( 神拝校区連合自治会・神拝小学校・神拝児童クラブ・神拝地区青少年健全育成協議会・神拝婦人会・神拝校区民生児童委員会・社会福祉協議会神拝支部・神拝高齢者クラブ・神拝小学校PTA・神拝地区人権教育を進める会・西条市教育委員会・西条高校 )</small>				

### 西条市神拝公民館

OPEN 8 : 30 ~ 17 : 00

H P

<https://www.city.saijo.ehime.jp/soshiki/syakaikyoku/kanbai-index.html>

T E L 0897-53-6946

SNS



## 1. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

- ・神拝地区の将来の推計人口が、**2040年には「消滅可能都市の定義」に該当する地域であるとの予想**がなされた。地域の良さを知り、シビックプライドの醸成が不可欠と考え、わたしたちの地域を学ぶ「神拝学」や地域の人を知る「公民館de遊ぼう」を開催した。
- ・「**何か運動をしたいけど、なかなかできる運動がない**」という高齢者の声があり、健康寿命を延ばすために、誰でも気軽に参加できるをモットーに、百歳体操を取り入れた「おげんきさん体操」の時間を設けた。

## 2. 取組内容（力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動、運営の工夫など）

【公民館de遊ぼう(世代間交流活動)】～地域の子どもは地域の宝 みんなで育てよう～  
 少子高齢化が進む中で、地域で子育てをとという声が聞かれ始めたため、**地域と子どもを繋ぐ手段**として、**地域団体の協力を得て始まったのが「公民館de遊ぼう」**である。

第1回目は地域の各種団体と子どもたちとの交流会を開催。16mmフィルムの映写会の後、本の読み合い会・ジャンボすごろく大会を行った。

第2回目は「ミニポッチャ大会」を開催。子どもが上手に投げると、地域の方からは拍手喝采であった。対戦するというよりは、一緒に遊ぶという感覚で参加できるように工夫した。



公民館de遊ぼう ミニポッチャ

【神拝学(ふるさと学習)】～神拝を知ろう 神拝を学ぼう～

年間4回の教室を通して、**神拝地域を自然・歴史・まちと多方面から**学んでいる。神拝という名前の由来から未来に残したい自然や歴史・その建造物など、普段気づかない遺産があることを認識し、伝えていく必要性を感じる事業を目指している。



神拝学 タウンツーリズム

【おげんきさん体操(健康づくり)】～健康寿命を延ばそう～

毎月第2・4木曜日に決めて、百歳体操（座ってできる体操）を開催、「来れるときに来てください」という、**気軽に参加できる教室**となるよう心がけている。

## 3. 取組による成果や効果

【公民館de遊ぼう】

- **地域の高齢者と小学生とその保護者と3世代交流の場**となっている。
- 人と繋がる楽しさを感じてもらえたのではないかと思われる。

【神拝学】

- **自然を守ることの大切さや、地域の歴史を知る**ことができた。
- タウンツーリズムを通じて、普段何気なく歩いている中にも、**歴史的価値のあるもの**が多く存在していることに気づくことで、見るという訓練ができた。

【おげんきさん体操】

- 毎回参加することで、**参加者同士の繋がりが**できてきた。



おげんきさん体操

## 4. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

- 自治会や地域団体の代表者と学校関係者で構成する公民館協力委員会を年間2回開催している。事業計画や実施報告を基に、**公民館活動について地域の声を聞きながら、事業の検証をする機会**としている。
- 事業参加者や公民館利用者の方の声を聞くことで、今後の改善点となるヒントを得るようにしている。
- 西条市公民館連絡協議会主催の各種会議・研修において、他館と情報交換を行い、運営の参考としている。

## 5. 公民館として大切にしていること、大切にしている考え

地域の中での「公民館」としての在り方を大切にしている。

地域関係団体と連携し、独自の活動だけでなく、**地域を巻き込んだ形での事業展開**に変えていく。地域を支えるのは「人」であり、その「人たち」を大切にしたいと考えている。



公民館de遊ぼう ジャンボすごろく

## 6. これから公民館をどのようにしていきたいか。次の仕掛けやビジョンなど。

子どもから高齢者まで、様々な年代の方が、それぞれに学習できる場の提供と、世代間交流ができる事業展開をWithコロナで仕掛けていきたいと思っている。また、「**いつでも・誰でも・気軽に公民館を利用できる**」そんなスペースが公民館内に設置できないか模索中である。



キッズ教室 西条高校科学実験

# 緑と清流の里 たにすじ

## 西予市溪筋公民館



さくらまつり



川まつり

### 公民館の沿革・年表

- ・昭和25年 溪筋公民館開設
- ・昭和30年 野村町に合併
- ・昭和58年 溪筋公民館改築
- ・平成2年 川まつり始まる
- ・平成16年 西予市に合併
- ・平成23年 さくらまつり始まる
- ・平成27年 小学校閉校・幼稚園閉園

### 左図・写真の説明等など(PRポイントなども可)

- ・「さくらまつり」の様子  
鳥鹿野水辺公園にて野点(のだて)を行い、お菓子をふるまっている様子。地元の中・高生が琴の演奏を披露する中、花見をしたり、談笑したりしながら思い思いの時間を楽しんだ。
- ・「川まつり」の様子  
源流探検や魚つかみ体験、水生生物調査、宝さがしなどを行い、川と親しんだ。自然体験を通して地域住民が交流し、地域のことを知ったり、故郷の良さを感じたりすることができた。

1. 都道府県名	愛媛県	3. 公民館対象人口	862人	5. 来館者のインターネット接続環境	無線LAN (Wi-Fi等)
2. 市区町村名	西予市	4. 建物設置年月日	昭和58年3月6日	6. 来館者のインターネット接続最大端末数	100台
7. 運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者 ( ) <input type="checkbox"/> その他 ( )				
8. 来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 1567人 <input type="checkbox"/> その他 0人 ( )	<input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 2036人	<input checked="" type="checkbox"/> 講演会、展示会等 866人	合計	4,469人
9. 職員数	<input type="checkbox"/> 専任 0人 <input checked="" type="checkbox"/> 兼任 2人 <input checked="" type="checkbox"/> 非常勤 1人 <input type="checkbox"/> ボランティア協力者 0人 ( 職員のうち社会教育主事有資格者の数 1人    職員のうち社会教育士の数 0人 )    合計 3人				
10. 予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄附等 <input type="checkbox"/> その他 ( )				
11. 公民館運営審議会	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> その他 ( )				
12. 公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input type="checkbox"/> 子育て支援 <input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動 <input type="checkbox"/> 子ども食堂 <input checked="" type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画 <input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援 <input type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input type="checkbox"/> ICTの活用 <input checked="" type="checkbox"/> 防災 <input checked="" type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input type="checkbox"/> ボランティア養成 <input checked="" type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり <input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援 <input type="checkbox"/> 自主夜間中学 <input type="checkbox"/> その他 ( )				
13. 施設の特徴、魅力	<input type="checkbox"/> 複合施設 <input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター <input type="checkbox"/> その他 ( ) <input checked="" type="checkbox"/> 自由記述 ( 少子高齢化が進む地域において、地域交流の拠点としてなくてはならない存在である。 )				
14. 各種事業等で連携・協働している団体等 (団体名記述)	<input checked="" type="checkbox"/> 幼稚園・保育所 <input checked="" type="checkbox"/> 小中学校 <input type="checkbox"/> 高校 <input checked="" type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input checked="" type="checkbox"/> 各種団体 <input checked="" type="checkbox"/> 行政機関 <input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 博物館 <input type="checkbox"/> 青少年教育施設 <input type="checkbox"/> その他 ( 野村保育所、野村幼稚園、野村小・中学校、溪筋地区自治振興協議会、溪筋愛護班、溪筋老人クラブ、溪筋婦人会、溪筋青年団、溪筋五六会、西予市スポーツ協会溪筋分会、溪筋史談会、愛媛大学、西予市観光協会、西予市教育委員会 )				

### 西予市溪筋公民館

OPEN 8:30~22:00    H P  
TEL 0894-75-0111    SNS



## 1. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

【さくらまつり】 当地区は、南予の水瓶である野村ダムの上流部に位置し、ダム建設に併せて改良された幹線道路沿いに、桜が2キロにわたり植樹されている。30年を経過する頃から桜に天狗巣病が発生し、徐々に元気が失われていた。それらを憂いた住民が管理者に相談したが、対応は難しく、それならば自分たちで何とかしようという機運が高まり、数年かけて除去作業に取り組んだ結果、以前のような状態にまでに回復することができた。これら一連の取組を記念し、さくらまつりを開催する運びとなった。

【川まつり】 30年程前、一人の小学生の作文に綴られた、『清流「稲生川」がいつまでもきれいであってほしい』という願いを読んだ当時の公民館主事の想いと、小学生の願いに心を打たれた漁協関係者の『ふるさとの清流を後世に』という願いが実を結び、活動がスタートした。

## 2. 取組内容（力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動、運営の工夫など）

【さくらまつり（環境保全と地域振興）】 主催：さくらまつり実行委員会

●桜の木が植樹されて約40年余りたち、天狗巣病や宿り木などを、毎年時機を見ては、除去作業を行っている。

●利便性を考慮し、給排水設備の整っている地区中心部の鳥鹿野水辺公園へ場所を移している。また、通りすがりの方にもわかるよう『のぼり』を立て呼び込んでいる。また、地元農産加工組合との連携により、加工品の販売や、地元有志による雑貨販売など、地域の売込みにも余念がない。

●来場者へは野点を提供している。涼み台に毛氈（もうせん）を敷いて、華やかさの中に非日常感を演出している。また、去年は、地元小中生による琴の演奏を初めて行った。桜との情景も相まって大変好評を得ている。

【川まつり（環境保全）】 主催：川まつり実行委員会

●環境マイスター制度を活用し、講師を招き「稲生川」の水生生物調査を行うことで、参加者に「稲生川」の水質のすばらしさを理解してもらっている。子どもたちにとって海水浴の経験はあっても、意外と河川で泳いだり生きた魚をつかんだりする経験は多くない。座学のみだけでなく、川ならではの体験活動に力を入れ、いつまでも心に残る活動になっている。



さくらまつり 野点



川まつり 水生生物調

## 3. 取組による成果や効果

【さくらまつり】

●世代間、地域間の交流の機会となっている。地域外から訪れる方も増加している。

●野点やお茶菓子の配布だけではなく、隣接する加工施設の惣菜販売も行い、地域の交流の輪が広がっている。

【川まつり】

●環境に対する住民の意識が高まり、まつりが始まった約30年前と変わらぬ水質を保つことができていることは地域の誇りである。

●帰省客、市外からの参加者も多い。昨年・一昨年はコロナウイルスにより参加制限をかけることとなったが、地域のイベントとして定着し、住民の皆さんが楽しみにされているだけでなく、イベントに併せて里帰りするなど、いつまでもふるさとを大切にしている心が育まれている。



さくらまつり 惣菜の販

## 4. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

●地区住民の主体性を重視する観点から、地域の意見を取り入れるための機会を設け、意見を引き出す工夫を行っている。反省会終了後には懇親会を実施し、役員相互の理解を深め、事業発展のための思いやアイデアを共有している。

●各実行委員会や公民館運営審議会で総括、問題点や改善点について協議し、次回開催時の改善につなげている。

## 5. 公民館として大切にしていること、大切にしている考え

郷土愛を育み、みんなで話し合い、みんなで参加、みんなで実践し、「地域の夢をかたちに」を基に公民館活動業務を行っている。人と人のつながりを大切にし、新しいことや物を取り入れながらも、地域の歴史や文化・伝統などを大切にしていきたい。



自治振 総会

## 6. これから公民館をどのようにしていきたいか。次の仕掛けやビジョンなど。

令和5年度からの地域活動センター設置に向け、目指すビジョンを地域住民と協議していく必要がある。過疎化が進む地域にとって活動センターの位置付けは重要である。地区住民の願いをかなえ、地区の活性化を図り、地域の未来を拓いていける、地域活性化の拠点となる地域活動センターを作り上げていきたい。



溪筋公民館

# ふるさとを学び、未来へ伝えていく

## 今治市吉海学習交流館



吉海学習交流館



ふるさと学級 島四国巡拝

### 公民館の沿革・年表

- ・昭和29年 吉海町公民館開設
- ・昭和42年 吉海町中央公民館新築
- ・昭和55年 大島諸島開発総合センター新築
- ・平成6年 吉海町町民会館新築
- ・平成17年 今治市に合併  
吉海開発総合センター、吉海学習交流館となる
- ・平成28年 吉海開発総合センター閉館

### 左図・写真の説明等など（PRポイントなども可）

「ふるさと学級」の様様

令和3年 郷土史跡学習会（島四国巡拝）の様子

吉海町郷土史会会長を講師に迎え、准四国八十八ヶ所霊場である島四国の札所や史跡をめぐり、郷土の歴史や文化を学んだ。

学習終了後には、吉海地区婦人会のご厚意により、昼食（コロナ禍のため会食はせず、お弁当を持ち帰っていただいた）のお接待を受けた。

1. 都道府県名	愛媛県	3. 公民館対象人口	3192人	5. 来館者のインターネット接続環境	無し
2. 市区町村名	今治市	4. 建物設置年月日	平成6年2月28日	6. 来館者のインターネット接続最大端末数	-
7. 運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者 ( ) <input type="checkbox"/> その他 ( )				
8. 来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 783人 <input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 2490人 <input checked="" type="checkbox"/> 講演会、展示会等 3,261人 <input type="checkbox"/> その他 0人 ( )	合計		6,534人	
9. 職員数	<input checked="" type="checkbox"/> 専任 2人 <input checked="" type="checkbox"/> 兼任 3人 <input type="checkbox"/> 非常勤 0人 ( 職員のうち社会教育主事有資格者の数 0人    職員のうち社会教育士の数 0人 )	合計		5人	
10. 予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄附等 <input type="checkbox"/> その他 ( )				
11. 公民館運営審議会	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> その他 ( )				
12. 公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input type="checkbox"/> 子育て支援 <input type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動 <input type="checkbox"/> 子ども食堂 <input type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画 <input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり <input type="checkbox"/> 高齢者の学び支援 <input type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input type="checkbox"/> ICTの活用 <input checked="" type="checkbox"/> 防災 <input checked="" type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input type="checkbox"/> ボランティア養成 <input type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり <input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援 <input type="checkbox"/> 自主夜間中学 <input type="checkbox"/> その他 ( )				
13. 施設の特徴、魅力	<input type="checkbox"/> 複合施設 <input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター <input type="checkbox"/> その他 ( ) <input checked="" type="checkbox"/> 自由記述 ( 町の中心部に位置し、こども園、小中学校も近く、利用しやすい。 )				
14. 各種事業等で連携・協働している団体等（団体名記述）	<input checked="" type="checkbox"/> 幼稚園・保育所 <input checked="" type="checkbox"/> 小中学校 <input type="checkbox"/> 高校 <input type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input checked="" type="checkbox"/> 各種団体 <input checked="" type="checkbox"/> 行政機関 <input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 博物館 <input type="checkbox"/> 青少年教育施設 <input type="checkbox"/> その他 ( 吉海認定こども園、吉海小学校、大島中学校、吉海地区自治会、吉海地区婦人会、今治市老人クラブ吉海地区連合会、今治市社会福祉協議会吉海支部、吉海文化協会、今治市 )				

### 今治市吉海学習交流館

OPEN 8:30~22:00    H P  
TEL 0897-84-4700    SNS



## 1. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

- 離島であったため、進学や就職により島の外へ出ていく場合が多い。
- 自分たちが住んでいるふるさとの歴史や文化を学び、郷土愛を育ててほしい。
- 少子高齢化が進む中、こどもたちと地域住民がふれあう機会自体が減ってしまった。

## 2. 取組内容（力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動、運営の工夫など）

【ふるさと学級（地域資源を生かした取組）】

小学校6年生を対象に、美しい自然や文化遺産に恵まれた郷土の歴史や文化を学び、地域の方々とふれあうことによって郷土を誇り、愛する心とともに、心豊かでたくましい青少年を育てることを目標に活動している。

- 村上海賊が使用していた小早船の櫓漕ぎを体験
- 准四国八十八ヶ所霊場である島四国の札所や史跡の巡拝
- 豊かな自然の中でマリンスポーツやバーベキューなど野外活動体験
- 特産品である大島石の採石場を見学、石割りを体験
- 七草を採取し、七草粥等郷土料理の調理体験

小学校や地元の漁協、郷土史会、婦人会、石材会社など地域の団体から講師を迎えるなど、地域ぐるみでこどもたちの活動を支えている。

少子化により学級生が減少していることから、令和元年度より、同じ大島の宮窪公民館学級である「まちなか探検教室」と一部合同で活動に取り組んでいる。



小早船櫓漕ぎ体験



島四国札所巡拝

## 3. 取組による成果や効果

ふるさと学級は令和4年度で47期を迎えており、こどもの頃の共通の思い出として多くの学級修了生の心に残っている。現在、大島の中学校は統合により1校となっており、ふるさと学級とまちなか探検教室で共に活動したこどもたちが翌年には同じ中学校のクラスメイトになるため、一足先に知り合うことができよかったという声が多く聞こえてくる。

また、大島地域の成人式は、吉海地区、宮窪地区が合同で吉海学習交流館で行っており、新成人となった多くの学級生が地元の成人式に参加してくれている。ふるさと学級において郷土の歴史や文化の学習を行うことにより、ふるさとへの誇りと感謝の気持ちを育んだ成年たちが、日本中、世界中に羽ばたき、後世にふるさとの良さを伝えていってくれている。



吉海学習交流館前での成人式記念撮影

## 4. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

- 学識経験者や社会教育関係者等で構成される運営協議会を年2回開催
- 利用者アンケートの実施
- 利用者、各団体等からの聞き取り調査の実施

## 5. 公民館として大切にしていること、大切にしている考え

人と人や組織と組織のつながりを大切にし、他世代間の交流の機会を図るとともに、高齢者の健康増進や青少年の健全育成、生活文化の伝承と発展に努める。

利用者の声に耳をかたむけ、幅広い世代に気持ち良く施設を利用していただけるように心掛ける。



しめ縄づくり体験

## 6. これから公民館をどのようにしていきたいか。次の仕掛けやビジョンなど。

コロナ禍により、世間を取り巻く状況が大きく変わってきているが、時代に即した新しい形を模索し、たくさんの地域の方々が利用できるような施設を目指していきたい。



規模を縮小して開催した文化芸能祭

# 持続可能な地域学校協働活動を求めて

## 八女市黒木公民館

### 公民館の沿革・年表

- 昭和47年（1972年）11月 黒木開発センター設立（黒木開発センター内に黒木町中央公民館設置）
- 平成22年2月 一市二町二村合併に伴い八女市黒木公民館として改名
- 平成31年4月 黒木地区地域学校協働活動をスタートする（活動本部を八女市黒木公民館が担う）
- 令和2年2月 福岡県公民館実践交流会で八女市黒木公民館における地域連携活動の実践発表を行う
- 令和3年9月 第43回全国公民館研究大会 第72回九州地区公民館研究大会 第一分科会にて実践発表を行う

### 左図・写真の説明等など（PRポイントなども可）

黒木公民館は、2小1中学校と地域を結ぶパイプ役を担い、公民館の強みを生かした地域学校協働活動を推進している。当館は、学校と地域がWIN = WINの関係を構築していくことを目的に、令和元年度から「学校支援」に「地域づくり」の視点を融合させた地域学校協働活動をスタートさせた。左記の写真は、黒木地区協働活動本部（八女市黒木公民館）が企画する「放課後こども学習支援」活動における「小・中学校サマースクール支援」である。小・中学校サマースクールに学習支援ボランティア人材を派遣し、子ども達の学習支援活動を実施している。ボランティア人材は、地域の教員OBや教職免許取得コースの大学生、地元の中高校生に協力を依頼している。



八女市黒木公民館

サマースクール

1. 都道府県名	福岡県	3. 公民館対象人口	10465人	5. 来館者のインターネット接続環境	無線LAN (Wi-Fi等)	
2. 市区町村名	八女市	4. 建物設置年月日	西暦1972年	6. 来館者のインターネット接続最大端末数	0台	
7. 運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者 ( <input type="checkbox"/> 地区まちづくり協議会 ) <input type="checkbox"/> その他 ( )					
8. 来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 880人 <input type="checkbox"/> その他 0人 ( )	<input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 2646人 <input checked="" type="checkbox"/> 講演会、展示会等	合計		3,526人	
9. 職員数	<input checked="" type="checkbox"/> 専任 4人 ( 職員のうち社会教育主事有資格者の数 0人 )	<input type="checkbox"/> 兼任 0人 ( 職員のうち社会教育士の数 0人 )	<input type="checkbox"/> 非常勤 0人	<input type="checkbox"/> ボランティア協力者 0人	合計 4人	
10. 予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄附等 <input type="checkbox"/> その他 ( )					
11. 公民館運営審議会	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> その他 ( )					
12. 公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input type="checkbox"/> 子育て支援 <input type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画 <input type="checkbox"/> ICTの活用 <input type="checkbox"/> ボランティア養成 <input type="checkbox"/> その他 ( )	<input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり <input checked="" type="checkbox"/> 防災 <input type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援	<input type="checkbox"/> 子ども食堂 <input type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input type="checkbox"/> 自主夜間中学		
13. 施設の特徴、魅力	<input checked="" type="checkbox"/> 複合施設 <input type="checkbox"/> 自由記述 ( )	<input checked="" type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> その他 ( )	<input type="checkbox"/> 学校	<input type="checkbox"/> 生涯学習センター		
14. 各種事業等で連携・協働している団体等 (団体名記述)	<input type="checkbox"/> 幼稚園・保育所 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 図書館	<input checked="" type="checkbox"/> 小中学校 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> 博物館	<input checked="" type="checkbox"/> 高校 <input checked="" type="checkbox"/> 各種団体 <input type="checkbox"/> 青少年教育施設	<input checked="" type="checkbox"/> 大学 <input checked="" type="checkbox"/> 行政機関 <input type="checkbox"/> その他		

### 八女市黒木公民館

OPEN 9:00~17:00

H P

TEL 0943-42-9730

SNS



## 1. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

少子高齢化が進む中、八女市の人口は減少傾向にあり、家庭と地域の関係が変化しつつある。特に地域の教育力の低下が見られ、学校など教育機関に対する依存度が年々高まる傾向にある。また地域とのつながりが薄れ家庭が孤立したり、地域との交流を通じて学ぶ機会も減少したりしている。地域社会全体で子どもの健全育成が行えるようにするため、家庭や地域の教育力の向上を実現する取組が必要である。

そこで黒木地区では、令和元年度から地域学校協働活動に取り組み、「学社連携」「学社融合」の実現に向け、地域づくりの拠点である公民館が「学校」と「地域」のコーディネイトをしている。これまで公民館が培ってきた強みである「地域のひと・もの・ことへの対応力」や「公民館の三つの機能(つどい・まなぶ・つなげる)」が、学校と地域をつないでいく原動力となると考える。

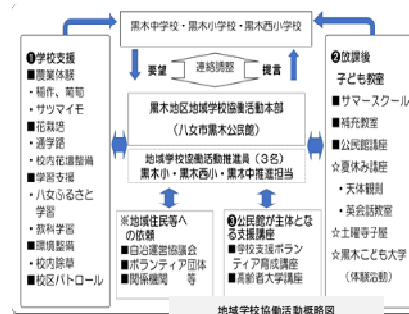
## 2. 取組内容（力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動、運営の工夫など）

【地域と学校をつなぐ公立公民館の取組（地域学校協働活動）】

地域と学校が連携・協働しながら、地域全体で子どもの成長を支え、地域を創生し元気にする活動として「地域学校協働活動事業」を八女市黒木公民館が中核となって推進している。また、黒木中学校区コミュニティスクール学校運営協議会と連携し、持続可能な体制を構築していくことを目的としている。具体的な取組内容は、学校支援と放課後学習支援活動及び体験活動である。

学校支援では、公民館が地域と学校を繋ぐパイプ役を担い、幅広い地域住民の参画を実現している。令和3年度は、地域と学校が関わり合い、高め合いながら活性化を図る公民館講座（高齢者講座のアウトリーチ活動、学校支援につながる公民館講座）と推進員的確なコーディネートによる学校支援活動を展開することができた。地域学校協働活動も3年次を迎え、学校の教職員と地域活動推進員・支援スタッフの関係も更に良好になり、開かれた学校としてだけでなく、学校の働き方改革にも寄与することができている。徐々に学校支援スタッフ組織が整いつつある。本年度の大きな取組の成果として、子ども達の安心・安全な登下校のために「黒木地区子ども見守り隊」が結成された。現在、12名の協力者による見守り隊が作られている。

放課後等学習支援活動及び体験活動では、小・中学校のサマースクール、黒木西小学校と黒木中学校の放課後補充教室、関連活動としての公民館講座（親子天体観測会、親子英会話体験、土曜寺子屋等）・黒木地区青少年体験活動（黒木こども大学）を実施し、学力補完を目指した支援を行っている。放課後補充教室については、特に中学校において3年生への受験対策として効果を上げている。小学校は、6年生を対象に中学校との接続として確かな学力定着に貢献した。



黒木地区子ども見守り隊の活動

## 3. 取組による成果や効果

地域学校協働活動推進の効果としては、公民館がパイプ役となることで、地域の多様な経験や技能を持つ人材や公民館利用団体等と連携した支援体制づくりの基盤ができた。また、公民館で学校支援につながる分野の講座を開催することで、地域ボランティアの志をもった人材の発掘と人材育成を図ることもできた。黒木地区地域活動本部は、実務を重んじた体制としていることで、地域と学校をつなぐ太くて強いパイプが形成され、理念から実践へと進むスムーズな流れができつつある。黒木地区地域学校協働活動は、公民館を学びの拠点とし、住民が当事者意識をもって地域のことを考え課題解決していく「持続可能な地域社会づくり」をめざした取組として評価できると考える。



高齢者講座アウトリーチ活動

## 4. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

持続可能な地域学校協働活動として継続するために、以下のアプローチを視点に検証・改善を行う。

- ①【とらえる】アプローチ…学校・地域の現状や願いを把握する。
- ②【見通す】アプローチ…学校運営協議会と連携し、ゴールとなる子どもの育ちを意図した活動に練り上げていく。
- ③【巻き込む】アプローチ…公民館講座等の工夫改善…より多くの地域住民に学校への興味関心を持たせる。地域住民が子どもと関わりを持つ場の設定（子どもの出番・役割・立場づくり）

## 5. 公民館として大切にしていること、大切にしている考え

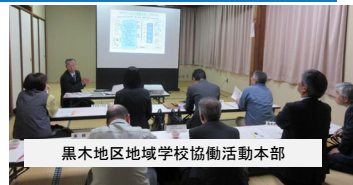
公立公民館は様々な分野（学校支援・協働活動本部としての拠点・ボランティアセンター機能・人材育成・学習の共同開催・地域行事とのコラボ・講座生との交流など）で地域学校協働活動に関わっていくことができると考える。地域や公民館の状況によって協働・連携できることは違ってくるが、学校・地域・公立公民館それぞれの状況の相互理解を図ることが重要と考える。八女市黒木公民館を含め公立公民館8館は全面的に地域学校協働活動を支援していくことを確認し、公民館と学校がお互いに「知り合う」取組を実践し始めている。具体的には、講座等を通じて、公民館が子ども達や教職員と関わることで、互いに顔を見合わせることからスタートさせようと努めている。



親子天体観測教室 (公民館講座)

## 6. これから公民館をどのようにしていきたいか。次の仕掛けやビジョンなど。

- 各小・中学校からの支援要請に対応できる地域人材ネットワークの構築
- 多様な世代に対応した公民館講座の工夫
- 地域・学校を活性化させるための若者の参画（高校生・大学生を積極的に活動に巻き込む）



黒木地区地域学校協働活動本部



# みんなの笑顔をつくりだす 種まきの公民館

## 唐津市呼子公民館



子ども教室釣り体験・子どもカフェ



小川島でのリフレッシュふれあい教室

### 公民館の沿革・年表

- 昭和41年 呼子社会体育館竣工
- 平成19年 唐津市公民館連合会へ加入
- 平成19年 放課後子ども教室推進事業開設
- 平成25年 リフレッシュふれあい教室開講
- 平成27年 公民館で婦人会による子どもカフェ始まる
- 令和元年 新呼子公民館竣工
- 令和3年 小川小中学校への出前教室開始
- 令和4年 第73回九州地区公民館研究大会鹿児島大会分科会にて事例発表

### 左図・写真の説明等など（PRポイントなども可）

・呼子の子ども教室は唐津市公民館連合会加入と同時に始まった。地域の人・もの・ことを活動テーマに年間計画を立てている。婦人会との繋がりも強く、子どもカフェは唐津市でいち早く立ち上げられた。地域の各種団体やボランティアの支援を受けながら活動している。最近では小学校との連携も深まり、学校職員の参加も多くなっている。

・小川島への出前教室で行っている「リフレッシュふれあい教室」は毎回20～30名の高齢者が参加し、楽しい笑顔の時間となっている。90才代の参加者もあり、毎回楽しみにされている。区長さんとの事前の調整を行いながら、小川島の高齢者に配慮した活動内容を考えている。「またきてね、またあえたね」の言葉は感動である。

1. 都道府県名	佐賀県	3. 公民館対象人口	4,000人	5. 来館者のインターネット接続環境	無し
2. 市区町村名	唐津市	4. 建物設置年月日	令和元年5月11日	6. 来館者のインターネット接続最大端末数	0台
7. 運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者（ <input type="checkbox"/> 地区まちづくり協議会） <input type="checkbox"/> その他（ <input type="checkbox"/> ）				
8. 来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 2200人 <input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 6000人 <input checked="" type="checkbox"/> 講演会、展示会等 300人 <input checked="" type="checkbox"/> その他 800人（ <input type="checkbox"/> 図書館利用）				合計 9,300人
9. 職員数	<input checked="" type="checkbox"/> 専任 2人 <input type="checkbox"/> 兼任 0人 <input type="checkbox"/> 非常勤 0人 <input type="checkbox"/> ボランティア協力者 0人 （職員のうち社会教育主事有資格者の数 0人    職員のうち社会教育士の数 0人）    合計 2人				
10. 予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄附等 <input type="checkbox"/> その他（ <input type="checkbox"/> ）				
11. 公民館運営審議会	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> その他（ <input type="checkbox"/> ）				
12. 公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 子育て支援 <input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 子ども食堂 <input type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画 <input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援 <input type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input type="checkbox"/> ICTの活用 <input checked="" type="checkbox"/> 防災 <input checked="" type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input checked="" type="checkbox"/> ボランティア養成 <input type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり <input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援 <input type="checkbox"/> 自主夜間中学 <input type="checkbox"/> その他（ <input type="checkbox"/> ）				
13. 施設の特徴、魅力	<input checked="" type="checkbox"/> 複合施設 <input checked="" type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター <input type="checkbox"/> その他（ <input type="checkbox"/> ） <input type="checkbox"/> 自由記述（ <input type="checkbox"/> ）				
14. 各種事業等で連携・協働している団体等（団体名記述）	<input type="checkbox"/> 幼稚園・保育所 <input checked="" type="checkbox"/> 小中学校 <input type="checkbox"/> 高校 <input type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> 企業 <input checked="" type="checkbox"/> NPO <input checked="" type="checkbox"/> 各種団体 <input checked="" type="checkbox"/> 行政機関 <input checked="" type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 博物館 <input type="checkbox"/> 青少年教育施設 <input type="checkbox"/> その他 （呼子小学校、小川小中学校、海青中学校、NPO法人K A N N E、九州電力、区長会、青少年育成協議会、民生・児童委員会、保護司会、婦人会、近代図書館、波戸岬少年自然の家、未盧館）				

### 唐津市呼子公民館

OPEN 8:30 H P  
 TEL 0955-82-3033 SNS



## 1. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

- ・新公民館が旧呼子中学校跡地に移転されたが、従来の利用状況に変化は見られない。公民館の立地という視点からも、いくつかの地区から見ると遠方にある、交通の便もあまりよくないという問題も指摘される。また、離島を含む町でありながら、島の住民の公民館利用という観点に立っていない。
- ・旧公民館は小学校の近隣にあり、放課後の児童も集まりやすいところであった。しかし、新公民館は小学校から遠方にあり、放課後に利用する（利用できる）公民館となっていない。婦人会を中心に子どもたちを支援する体制は整っている。（子ども食堂＝子どもカフェと呼称）

## 2. 取組内容（力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動、運営の工夫など）

### 【公民館を飛び出して】 ～多くの住民と広く繋がりが持てるように～

- ・上記の課題から遠方地域の高齢者や子どもたち（島の子どもたちも）が公民館をもっと身近に感じ、多くの住民と繋がりを広げ、深めることで笑顔いっぱいの公民館になるような取組を行った。

### 【公民館を飛び出した出前教室・出前講座】

- ・遠方地区の小友地区と小川島の高齢者を対象に年3回～7回の出前教室を「リフレッシュふれあい教室」として行っている。参加者は毎回20名～30名。内容は講話、健康教室、レクリエーション、お絵描き、工作、高齢者の人権教育等幅広い。地区の区長との事前打合せを行い、地区の行事に組み込んでもらっている。

- ・新公民館となり放課後に公民館に移動することができない子どもたちのために火曜と水曜日の放課後、公民館職員が小学校に足を運び、「出前教室」として教室を行っている。課題としては、授業終了後から教室の開始時間までの子どもたちの見守り時間の確保である。待機時間は公民館職員が早めに行き、児童と宿題等を進めている。（主な活動は土曜に公民館で行っている）

- ・離島（小川島）の子どもたちへ出前教室を行っている。離島の小中学校に陸部の子どもたちと同じ体験や学びをしてもらうために年3回の出前教室を公民館職員で行っている。全職員、全児童生徒と関わることのできる貴重な時間となっている。

- ・子ども教室は各種団体との連携を強化し子どもの見守りに留まらず、地域の子どもの絆作りにもなっている。また婦人会とタイアップした「子どもカフェ」も定着している。



小川島リフレッシュふれあい教



子ども教室・子どもカフェ（餅つき）

## 3. 取組による成果や効果

- ・公民館の「出前教室」は、子どもたちや高齢者との新たな絆を創り出せている。教育は機会均等であるべきであり、離島・陸部・老若男女への手だてを講じなければならない。
- ・児童の参加が多くなったことも成果である。学校と公民館との連携により放課後の子どもたちの意味ある居場所作りとなっている。
- ・小川島への「出前教室」においても児童生徒、学校関係者からずっと続けてほしいという声が届いている。
- ・公民館がコーディネートの役割を果たすことで、高齢者、子ども、成人の「笑顔作り」を目標とした公民館に近づいている。



小川小中学校への出前教室（都道府県ビンゴ）

## 4. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

- ・年4回の公民館運営審議会において、年間を通した計画や事後の報告・検証を行なう中で、課題を見つけている。
- ・地域学校協働活動（子ども教室）においては、協働サポーターの力量向上のための研修や特につながりのある婦人会との定期的な意見交換会も行っている。また、地域学校協働活動サポーターとの定期的な打合せや相談を館長、事務員とでおこなっている。

## 5. 公民館として大切にしていること、大切にしている考え

- ・基本は「みんなの公民館」と「笑顔作り」みんなとは赤ちゃんから高齢者まで。公民館に遠い人も島の人も同じ呼子の住人であることに変わりはない。そのためにはこれまで同様に学校との連携、各種団体との連携を深めることが大切である。公民館を飛び出した「出前教室」も定着させていきたい。公民館は「楽しいところ」「元気になるところ」ということを多くの人に発信したい。



公民館利用者と公民館花壇の手入れ

## 6. これから公民館をどのようにしていきたいか。次の仕掛けやビジョンなど。

- ・みんなの公民館・・・公民館に来る人、来れる人。しかし、来たくても来られないという人も存在する。そのような住民のために公民館は何を考え何ができるのかを常に考えている。「出前」はその中の一つである。地域コミュニティの中核にならなければならないのはやはり公民館だと思う。まずは、小中学校へも足を運び、学校を巻き込み、学校と共に、学校の運営の中に公民館という文字が明確になるよう連携していきたい。



水光呼子港まつり参加・子どもダンスの子どもたち

# 公民館に地域の“いま”を実装する

## 長崎市北公民館



親子向け音楽ワークショップ  
「親子でシャル・ウィ・ミュージック」



親子向け手打ち蕎麦体験

### 公民館の沿革・年表

- 昭和44年 長崎市住吉町に開館
- 平成3年 千歳町の複合施設チトセピア内へ新築移転
- 昭和48年・平成12年 優良公民館として文部大臣表彰
- 令和2年 指定管理者制度導入  
YouTubeチャンネル開設  
全国公民館報コンクール審査員賞受賞
- 令和3年 全国公民館インターネット活用コンクール金賞受賞
- 令和4年 社会教育主事講習事例発表  
文科省HP「公民館におけるデジタル活用の取組」掲載

### 左図・写真の説明等など（PRポイントなども可）

長崎市北部の大型館として市内最大の利用者数を誇る北公民館は令和2年度より指定管理者制を導入、民間運営を行っている。中教審答申や市総合計画をふまえ、「誰ひとり取り残さない共生社会の実現に向けて、市民が生涯を通じて生き生きと学び、文化芸術を楽しみ、交流するコミュニティの拠点」を目指し、併設する公共ホールとの利用者の循環をねらった運営を行う。また、紙媒体とweb媒体を併用した広報展開は全国より注目を集め、コロナ禍においても新規講座を対面と配信を併用して実施し、生涯学習の歩みを止めることはなかった。

1. 都道府県名	長崎県	3. 公民館対象人口	52000人	5. 来館者のインターネット接続環境	有線・無線の両方
2. 市区町村名	長崎市	4. 建物設置年月日	昭和44年11月1日	6. 来館者のインターネット接続最大端末数	600台
7. 運営主体	<input type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理者（有限会社ステージサービス） <input type="checkbox"/> その他（ ）				
8. 来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 6000人 <input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 27000人 <input type="checkbox"/> 講演会、展示会等 <input checked="" type="checkbox"/> その他 81000人（図書室利用を含む）				合計 114,000人
9. 職員数	<input checked="" type="checkbox"/> 専任 10人 <input checked="" type="checkbox"/> 兼任 1人 <input checked="" type="checkbox"/> 非常勤 4人 <input type="checkbox"/> ボランティア協力者 0人 （職員のうち社会教育主事有資格者の数 0人    職員のうち社会教育士の数 0人）    合計 15人				
10. 予算	<input type="checkbox"/> 市区町村予算 <input type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄附等 <input checked="" type="checkbox"/> その他（委託料と利用料金の併用制）				
11. 公民館運営審議会	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> その他（ ）				
12. 公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 子育て支援 <input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動 <input type="checkbox"/> 子ども食堂 <input type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画 <input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援 <input type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> ICTの活用 <input checked="" type="checkbox"/> 防災 <input type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input type="checkbox"/> ボランティア養成 <input checked="" type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり <input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援 <input type="checkbox"/> 自主夜間中学 <input checked="" type="checkbox"/> その他（文化芸術（併設されたホールとの連携事業））				
13. 施設の特徴、魅力	<input checked="" type="checkbox"/> 複合施設 <input checked="" type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター <input checked="" type="checkbox"/> その他（公共ホール（長崎市チトセピアホール）を併設） <input checked="" type="checkbox"/> 自由記述（公民館と公共ホールの館長を兼任することで、文化芸術関連の講座も多く開催）				
14. 各種事業等で連携・協働している団体等（団体名記述）	<input type="checkbox"/> 幼稚園・保育所 <input checked="" type="checkbox"/> 小中学校 <input type="checkbox"/> 高校 <input checked="" type="checkbox"/> 大学 <input checked="" type="checkbox"/> 企業 <input checked="" type="checkbox"/> NPO <input checked="" type="checkbox"/> 各種団体 <input type="checkbox"/> 行政機関 <input type="checkbox"/> 図書館 <input checked="" type="checkbox"/> 博物館 <input type="checkbox"/> 青少年教育施設 <input type="checkbox"/> その他 （長崎大学 活水女子大学 長崎純心大学 長崎県立大学 公民館区青少年育成連絡協議会（館長が顧問を務める） 館区小中学校 長崎市恐竜博物館 長崎県音楽連盟 日本銀行長崎支店等）				

### 長崎市北公民館

OPEN 9:00~21:00

H P

<https://nnclc.net/>

T E L 095-845-6362

SNS

[https://www.youtube.com/channel/UCshuFnSIAGU2r\\_DIP782MhQ](https://www.youtube.com/channel/UCshuFnSIAGU2r_DIP782MhQ)





## 1. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

現在の北公民館では自主学習グループを中心に盛んに活動が行われている一方で年齢層が高く固定化の傾向にあり、将来的に利用者が減少し活動も先細りになるのではないかと問題意識を抱えていた。その一方でホームページのアクセス解析や市民アンケートを通して、子育て世代とその子どもたちが集い、学び、交流する場が求められていることがわかった。そこで、これらの潜在利用者層に向けた魅力的な講座を企画し適切に広報を行うことで新たな利用者層の開拓に繋げる、併せて、講座を通して地域の専門団体や人材と協働することで、多様な世代が行き交う公民館として地域のハブとして機能することを目指した。

## 2. 取組内容（力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動、運営の工夫など）

### 【子育て層向けの講座の開講】

令和2年度より、ホールで活動していた県音楽連盟所属の音楽家によるワークショップや地域の飲食店の店主が講師の料理教室、プログラミング教室、託児サービス付き育児講座等を開講し、子どもから大人まで楽しめる公民館運営に取り組み続けている。

### 【冬のオムニバス講座「北公民館の冬じたく」】

令和3年の冬には親子向けのコンセプトを継承発展させたオムニバス講座「北公民館の冬じたく」を開講。「地域の“いま”の抱える社会的課題や知的好奇心を反映させた、地域の専門人材による10の講座」をコンセプトに実施した。

#### ■時代に即した講座の企画

日本銀行長崎支店の金融教育講座や、ジェンダーの観点からの歴史講座、地産地消の料理講座、地域の書店と連携し図書室の資料を活用した読書講座などを開講した。

#### ■広報ツールの工夫

小学校とのネットワークを活用しリーフレットを近隣校に配布、同時にSNSでも告知を行い、紙媒体とweb、互いの強みを活かした広報展開を行った。

#### ■ICTの活用

コロナ禍にあっても、市によって整備されたWi-Fi環境を活用しオンラインで講座を実施した。



託児サービス付き育児講座の開講

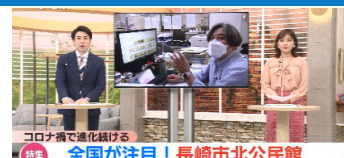


冬の講座は対面・オンラインを併用して開催

## 3. 取組による成果や効果

### 【冬のオムニバス講座「北公民館の冬じたく」】

- ・280組480人の受講申込、うち72%は30～40代、92%はインターネットからの応募。
- ・対面とオンライン併せて、のべ400人が受講、アンケートでも好評価が多く寄せられた。
- ・コロナ禍にあっても対面とオンラインの併用により、企画した全講座を実施した。
- ・魅力的な講座の立ち上げ、新規利用者層の開拓、次世代の公民館を担う講師の発掘、オンライン開催のノウハウの蓄積などに一定の成果が認められた。
- ・本講座における講座企画から広報展開、そして活動のアーカイブ化については、社会教育主事講習や（一財）地域創造、長崎県公民館連合会の研修会などで事例発表を行ったほか、地元メディアでも大きく取り上げられた。



コロナ禍で進化続ける  
特集 全国が注目！長崎市北公民館

ローカルニュースで特集



社会教育主事講習で事例発表

## 4. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

社会教育有識者、地域のPTA関係者などで構成される運営審議会を毎年開催し、コロナ禍においても書面開催を通して絶えず検証を続けた。加えて、館長が、研修会及び大学において事例発表や講義を行っており、自館の取り組みのアーカイブと総括、理論化を継続的に行い、再び実践へとフィードバックさせている。また利用者アンケートの実施や長崎大学の蓄積型学習で毎年受け入れている学生にカスタマーチェックを行ってもらい、利用者目線に立った公民館づくりに反映させている。

## 5. 公民館として大切にしていること、大切にしている考え

「公民館に地域の“いま”を実装する」、すなわち、現代的、社会的な課題や知的好奇心を反映させた、時代に即した事業を地域の専門人材と共に行っていくことでより魅力的で施設になると思います。そのためにも、生涯にわたって学び続けることの大事さを、同時代の感性に訴求するよう伝え方を工夫し発信し続けていく、その不易と流行のバランスが肝心だと考えています。



街歩き歴史講座で地域の魅力再発見

## 6. これから公民館をどのようにしていきたいか。次の仕掛けやビジョンなど。

講座企画や広報手段の革新、ICTの活用などを通して、潜在的利用者へ公民館の魅力を届けることができた。今後もアップデートを続け、より広い世代に親しまれる公民館を目指し利用者拡大に努めたい。同時にコロナ禍で培ったノウハウを活用し研修会等をオンラインで開催することで、他の公民館と積極的に知見を共有し合い、新しい時代の公民館のあり方を模索していきたい。



公民館職員を対象としたオンライン研修会を主催

人や歴史や地域をつなぎ、“らしさ”探し

玉名市横島町公民館



令和4年度 社会教育×SDGs推進部会

公民館の沿革・年表

- ・昭和48年 横島町中央公民館完成
- ・平成18年 合併により玉名市横島町公民館に名称変更
- ・平成19年 玉名市横島町公民館建替・支所と複合化
- ・令和2年 コロナ禍でもできる取組を模索。
- ・令和2年 動画配信の取組が生涯学習分科会で紹介  
公民館でのICT活用を進める。
- ・令和3年 市長部局や教育委員会の垣根を越え  
社会教育×SDGs推進部会設置
- ・令和3年 学官民連携による地域の歴史伝承事業開始

左図・写真の説明等など (PRポイントなども可)

横島町公民館では横島地区の住民のため、数十年続く町民行事を多数開催している。しかしコロナ禍による影響で多くの行事が中止となった。そんな中でもできる取り組みはないかと模索。玉名市の各公民館が連携し、コロナ禍でも社会教育の推進を止めないよう動画配信などに取り組んだ。また社会教育とSDGsをコラボした推進部会を立ち上げ、市職員に社会教育とSDGsについて広く知ってもらいつつ、部局を越えた連携による地域課題解決を目指し取り組んでいる。

1. 都道府県名	熊本県	3. 公民館対象人口	4966人	5. 来館者のインターネット接続環境	無線LAN (Wi-Fi等)
2. 市区町村名	玉名市	4. 建物設置年月日	平成19年3月26日	6. 来館者のインターネット接続最大端末数	256台
7. 運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村教育委員会	<input type="checkbox"/> 指定管理者 ( <input type="checkbox"/> 地区まちづくり協議会 )	<input type="checkbox"/> その他 ( )		
8. 来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 99人	<input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 18192人	<input type="checkbox"/> 講演会、展示会等	合計	18,291人
9. 職員数	<input checked="" type="checkbox"/> 専任 2人	<input type="checkbox"/> 兼任 0人	<input checked="" type="checkbox"/> 非常勤 1人	<input type="checkbox"/> ボランティア協力者 0人	
10. 予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算	<input type="checkbox"/> 委託金	<input type="checkbox"/> 自治組織等予算	<input type="checkbox"/> 寄附等	<input type="checkbox"/> その他 ( )
11. 公民館運営審議会	<input type="checkbox"/> あり	<input checked="" type="checkbox"/> なし	<input checked="" type="checkbox"/> その他 ( 参加者へのアンケートや講師等の意見を基に、関係者内で振り返り・検証・改善を実施 )		
12. 公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input type="checkbox"/> 子育て支援	<input type="checkbox"/> 家庭教育支援	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動	<input type="checkbox"/> 子ども食堂	
	<input type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画	<input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり	<input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援	<input type="checkbox"/> 障害者の学び支援	
	<input checked="" type="checkbox"/> ICTの活用	<input checked="" type="checkbox"/> 防災	<input checked="" type="checkbox"/> 地域学校協働活動	<input type="checkbox"/> コミュニティ・スクール	
	<input type="checkbox"/> ボランティア養成	<input checked="" type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり	<input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援	<input type="checkbox"/> 自主夜間中学	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他 ( SDGs )				
13. 施設の特徴、魅力	<input checked="" type="checkbox"/> 複合施設	<input type="checkbox"/> 図書館	<input type="checkbox"/> 学校	<input type="checkbox"/> 生涯学習センター	
	<input checked="" type="checkbox"/> 自由記述 ( 公民館区域に小学校が1校のみであるため、講座実施など密に連携を図っている。 )	<input checked="" type="checkbox"/> その他 ( 市役所支所との複合施設 )			
14. 各種事業等で連携・協働している団体等 (団体名記述)	<input type="checkbox"/> 幼稚園・保育所	<input checked="" type="checkbox"/> 小中学校	<input type="checkbox"/> 高校	<input type="checkbox"/> 大学	
	<input type="checkbox"/> 企業	<input type="checkbox"/> NPO	<input checked="" type="checkbox"/> 各種団体	<input type="checkbox"/> 行政機関	
	<input type="checkbox"/> 図書館	<input type="checkbox"/> 博物館	<input type="checkbox"/> 青少年教育施設	<input checked="" type="checkbox"/> その他	
	玉名市立横島小学校、横島校区まちづくり委員会、横島町文化財保存顕彰会、玉名市公民館横島支館など				

玉名市横島町公民館

OPEN 9:00~22:00

H P <https://www.city.tamana.lg.jp/q/aview/429/11086.html>

TEL 0968-84-2122

SNS 公民館独自のものはなし (市公式のみ)





## 1. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

横島町公民館のこれまでの公民館講座の内容は、**趣味・教養に関する講座が中心**であった。それが**コロナ禍により一変し**、「つどう、まなぶ、むすぶ」という公民館の方針は継続できなくなり、多くの受講者を集めるような講座の開講は困難となった。

コロナ禍でも社会教育活動を続けるにはどうすればよいか玉名市内の公民館同士で検討。横島町公民館では、**ICT活用**のほか、従来通りの多くの受講者を集める**趣味・教養講座**から、コロナ禍でも開催できる**規模・手法での人材育成の講座（人づくり講座）**へシフトすることとした。人材育成は以前から課題となっており、**コロナ禍を機に新規事業を企画**し取り組むこととした。

## 2. 取組内容（力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動、運営の工夫など）

### ●学・官・民連携による【朗読劇・よさこいクラブ（多世代間交流活動）】

横島町は400年にわたる**干拓工事により開かれた町**である。干拓史跡は国指定重要文化財であり、干拓史は住民にとってのアイデンティティとなっている。しかし、人口減少や高齢化などにより**地域の歴史伝承が課題**であった。

そのような中、地域団体から地域子どもへ歴史伝承をする機会がないかと相談があり、公民館が小学校と地域団体をつなぎ、**クラブ活動の時間を利用した「地域の歴史を学ぶクラブ」**を令和3年度から公民館でスタートさせた。地域団体には過去に公民館で朗読劇を学んだ者や体育教諭だった者などがおりそれらの特技を活かし、地域の歴史物語を用いた朗読劇と民謡をアレンジしたBGMでのヨサコイ踊りの2つを中心としたクラブ活動を行った。

### ●公民館による部局を越えたつながり作り

#### 【社会教育×SDGs推進部会（関係行政機関等との緊密な連絡・協力の促進）】

地域課題解決のためには、公民館と**市長部局との連携**が不可欠である。しかし、これまで十分な連携ができていなかったこと、SDGsの目標達成への取組を推進していくことは本公民館の課題であった。それらの課題の解決のため、令和3年度から**「社会教育×SDGs推進部会」を設置**。庁内の部局から推薦された職員を中心に、公民館の持つICTや教育的事業のノウハウなどを活用し、連携した**地域課題解決の企画にチャレンジ**している。



地域団体の朗読劇指導



部会員が配信動画を作成

## 3. 取組による成果や効果

### 【各活動によるの成果・効果（朗読劇・よさこいクラブ）】

- 児童が公民館に来館する流れができ、**子供の頃から公民館を利用する機会**を生んだ。
- 小学校や児童と地域住民との関係が深まった。●題材に地域の歴史に関するものを扱うことで**地域愛を育む機会**になった。●**高齢者の社会教育活動への参画**を推進することができた。

### 【各活動によるの成果・効果（社会教育×SDGs推進部会）】

- 部会を通してSDGsに職員が**関心を持つ**ことができた。●市の様々な課題と取組を知るとともに、職員に課題に対する意識の変化が生まれた。●参加した職員が課題に対して**部局を越え自由に楽しく対話**をすることの大切さを理解できた。



オフサイトのつながり創出

## 4. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

### ●朗読劇・よさこいクラブ

講師役を務める地域団体と、クラブ後に定期的な会議を行い、改善点や展望などを話し合っている。

### ●社会教育×SDGs推進部会

公民館職員による活動後の振り返りを毎回行うとともに、1年間の活動終了後は、市長・教育長等への報告会を開催している。

## 5. 公民館として大切にしていること、大切にしている考え

地域のための公民館であることを念頭に、地域課題や住民ニーズの把握にアンテナを張ることを大切にしている。社会教育の分野は本当に範囲が広く、公民館だけではとてもカバーしきれない。だからこそ、市長部局やその他各団体・個人と関係をつくり、多くの意見を取り入れながら、地域課題に対して関係者みんなで、横島町らしい正解を探ることが大切だと考えている。



海から生まれた町、横島

## 6. これから公民館をどのようにしていきたいか。次の仕掛けやビジョンなど。

人口減少が進む横島町において、よりよい地域づくりのためには、**住民のシビックプライド**が重要である。幸い、干拓の歴史を持つ横島町の住民には、自分たちがこの土地を作り上げてきたという**自負心が脈絡と**続いている。住民のシビックプライドを一層育てていくためにも、**地域を知る、地域を語る、地域に参画する**、そのような場として公民館が地域で注目されるよう取り組んでいく。



干拓という独自の歴史を持つ

今、木のぬくもりの中で・・・ 出会い・ふれあい・学びあい

大分市大分東部公民館



公民館の沿革・年表

- 昭和62年 九州唯一の全国モデル木造施設（9か所）として、「グリーンカルチャーセンター」として開館
- 平成元年 市民体育館 増設
- 平成2年 市民運動場 増設
- 平成23年 「大分東部公民館」に名称変更
- 平成29年 大会議室 増設

左図・写真の説明等など（PRポイントなども可）

全国9ヶ所の国のモデル木造建設事業によって県産材普及のため建設され、九州唯一の木造建築の生涯学習施設である。杉、松、ひのきなどをふんだんに使用し、ロビー上部は伝統的な民家小屋に見られる扱首(さす)構造を取り入れている。木造建築の吹き抜けを活かしたロビーコンサートや、コケ玉づくり教室や親子キャンプ教室など、新型コロナウイルス感染症対策の中、令和3年度は28教室を実施。令和3年度は、来館者数75,421人（貸館利用者数63,085人、主催事業参加者1,850人等）であり、貸館利用者は大分市随一。

1. 都道府県名	大分県	3. 公民館対象人口	44,000人	5. 来館者のインターネット接続環境	無線LAN (Wi-Fi等)	
2. 市区町村名	大分市	4. 建物設置年月日	昭和62年5月11日	6. 来館者のインターネット接続最大端末数	15台	
7. 運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者 (〇〇地区まちづくり協議会) <input checked="" type="checkbox"/> その他 (市民部市民協働推進課)					
8. 来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 1850人 <input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 63085人 <input type="checkbox"/> 講演会、展示会等 <input type="checkbox"/> その他 0人 ( )			合計	64,935人	
9. 職員数	<input checked="" type="checkbox"/> 専任 10人 <input type="checkbox"/> 兼任 0人 <input type="checkbox"/> 非常勤 0人 <input type="checkbox"/> ボランティア協力者 0人 ( 職員のうち社会教育主事有資格者の数 1人 職員のうち社会教育士の数 0人 )			合計	10人	
10. 予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄附等 <input type="checkbox"/> その他 ( )					
11. 公民館運営審議会	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> その他 ( )					
12. 公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 子育て支援 <input type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画 <input checked="" type="checkbox"/> ICTの活用 <input checked="" type="checkbox"/> ボランティア養成 <input type="checkbox"/> その他 ( )	<input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり <input checked="" type="checkbox"/> 防災 <input checked="" type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援 <input type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援	<input type="checkbox"/> 子ども食堂 <input type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input type="checkbox"/> 自主夜間中学		
13. 施設の特徴、魅力	<input checked="" type="checkbox"/> 複合施設 ( <input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター <input checked="" type="checkbox"/> その他 ( 市民体育館・市民運動場 ) ) <input checked="" type="checkbox"/> 自由記述 ( 全国9か所のモデル木造施設として建設された当時九州唯一の木造生涯学習施設 )					
14. 各種事業等で連携・協働している団体等 (団体名記述)	<input checked="" type="checkbox"/> 幼稚園・保育所 <input checked="" type="checkbox"/> 小中学校 <input type="checkbox"/> 高校 <input type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> 企業 <input checked="" type="checkbox"/> NPO <input checked="" type="checkbox"/> 各種団体 <input checked="" type="checkbox"/> 行政機関 <input checked="" type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 博物館 <input type="checkbox"/> 青少年教育施設 <input checked="" type="checkbox"/> その他 ( 城東原川地区自治会連合会、城東原川地区社会教育関係団体連絡協議会、城東原川地区人権教育推進協議会、NPO法人スマートライフネットワーク、大分県キャンプ協会 )					

大分市大分東部公民館

OPEN 9:00~22:00  
TEL 097-556-8818

HP <https://www.manabi-oita.jp/institutions/detail/13>  
SNS





## 1. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

大分市では平成29年に大分東部地域ビジョン会議を設置し、平成30年7月大分東部地域まちづくりビジョンとして、「緑豊かな東部地区 子どもに高齢者にやさしいまちづくり」として、①安心安全に暮らせるまちづくり・②地域コミュニティの活性化・③子育てしやすい地域づくりが必要であると提言をいただいた。今後少子高齢化が進み、地域の人口減少が予想される中、核家族で孤立しがちな家庭や放課後の居場所が少ない子どもへの支援・独居化が進む高齢者対策として、小中学校との学社連携や地域住民である児童民生委員や校区によって運営される校区公民館、子育てサロン等福祉分野との協働による取組が求められる。

## 2. 取組内容（力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動、運営の工夫など）

大分東部公民館は、地域の社会教育とまちづくりの核として、大分東部地域まちづくりビジョン提言の実現に向け取り組んでいる。①安心安全なまちづくりにおいては、津波等では洪水が予想されるため、防災教育の充実を図るべく、親子でハザードマップを確認し、実際の避難や災害時の食事等体験する「親子防災キャンプ」を実施している。②子どもに高齢者に優しいまちづくりとして、主催講座で子ども対象講座（プログラミング教室等）や高齢者対象教室（はつらつ健康体操等）の増加を図るとともに、各校区の老人会支援・放課後の居場所事業支援を実施している。③地域での子育て支援としては、「子育ての集い」や「おおいた家庭の日推進事業」を地域の子育て団体や児童民生委員・市福祉部局所管子どもルーム等と協働し、平成29年から市内で先駆けて実施している。

また、木材や木造建築物のよさの普及促進を目的とした、「グリーンカルチャーセンター」として開館した沿革に鑑み、コケ玉教室や親子キャンプ入門、園芸教室など自然体験や緑化推進事業を行ってきたほか、小学校でのプログラミング導入を受け学社連携事業「親子プログラミング教室」を開催し、プログラミング的思考を親子で学んでいただいたり、NPOと協働で開催した高齢者を想定した認知症予防のための「脳の健康教室」や、安心安全にスマホを利活用し、防災や電子申請等利用いただくための講座など、時代にニーズの応える取組も実施している。



親子防災キャンプ



城東原川子育ての集い

## 3. 取組による成果や効果

安心安全なまちづくりの取組として、実施した「親子防災キャンプ」は、事業前半は、本年1月に震度5強の地震が大分市を襲ったこともあり、非常時の対応について居住地域の防災マップを見ながら洪水氾濫時の対応について考えた。共働きで核家族が多い子育て家庭に好評であった。

また、高齢者対象の「脳の健康教室」は、実施前後でテストによる評価を取り入れ改善を確認できたり、独居高齢者が新しい人間関係を構築でき生活に変化が生まれたり地域課題の解決に寄与する結果が生まれている。木造建築を活かしたロビーコンサートなど含め、本館の強みを活かした取組が地域課題解決に寄与している。



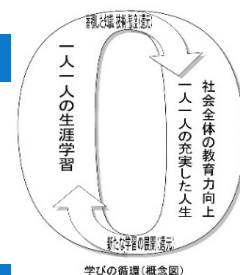
空家で炊飯 ～親子防災キャンプ

## 4. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

取組の検証は、施設利用者・主催講座受講者アンケートや施設予約抽選会でのヒヤリング、投書箱等でのご意見をもとに実施しており、おおむね好評をいただいている。今後は、この事業評価を客観視できる数値化の導入を行うとともに、地域小中学校への児童・生徒・保護者へのニーズ調査、地域でのヒヤリング増を計画している。

## 5. 公民館として大切にしていること、大切にしている考え

本市では平成21年、公民館の管理・運営業務を市民部に移管し、公民館のまちづくり支援機能を強化し、社会教育推進とまちづくり支援の2つの柱を持つこととなった。これまで、学んだものを地域で生かし、そこから新たな学びに出会う「学びの循環」を行うことで、個人としての生涯学習振興と地域の課題解決に寄与してきたが、今後もこの循環を支援し、地域課題の解決を支援していきたい。



学びの循環（概念図）

## 6. これから公民館をどのようにしていきたいか。次の仕掛けやビジョンなど。

「親子プログラミング教室」「脳の健康教室」など地域ニーズや時代の変化に沿った新たな学びを地域住民に提供することや、大分東部地域まちづくりビジョン提言の実現に向け取り組むとともに、地域での人権・同和教育のさらなる推進など、不易と流行を見据え取り組み、10年後50年後の地域づくりに役立つ公民館を目指す。



人権ツリーに願いを短冊で



# 楽しみがいっぱい！みんなの笑顔が集まる公民館

## 高千穂町中央公民館



ボックスギャラリー



絵本教室

### 公民館の沿革・年表

- ・昭和47年 高千穂町中央公民館
- ・昭和47年 勤労青年学級を開設（教育委員会）
- ・昭和48年 中央公民館 学級・講座の開設
- ・昭和49年 町立図書館併設
- ・平成4年 高千穂町生涯学習推進会議設置

### 左図・写真の説明等など（PRポイントなども可）

本公民館では、社会教育指導員を2名配置し、**生涯学習**と**読書活動**の**推進**をしている。

● **ボックスギャラリー**展示の様様。町民や町内の**団体**などが制作した**作品**を**展示**することができる。1ヶ月間無料で貸出している。

● 公民館講座「**絵本教室**」の様様。本町は平成16年4月に**日本で初めて家族読書条例**を制定。**読書の推進**や、**読み聞かせ活動のボランティアの育成**を実施している。

1. 都道府県名	宮崎県	3. 公民館対象人口	11210人	5. 来館者のインターネット接続環境	無し
2. 市区町村名	高千穂町	4. 建物設置年月日	昭和47年5月	6. 来館者のインターネット接続最大端末数	0台
7. 運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者（〇〇地区まちづくり協議会） <input type="checkbox"/> その他（ ）				
8. 来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 352人 <input type="checkbox"/> その他 0人	<input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 4033人	<input type="checkbox"/> 講演会、展示会等	合計	4,385人
9. 職員数	<input checked="" type="checkbox"/> 専任 1人	<input checked="" type="checkbox"/> 兼任 2人	<input checked="" type="checkbox"/> 非常勤 6人	<input type="checkbox"/> ボランティア協力者 0人	合計 9人
10. 予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄附等 <input type="checkbox"/> その他（ ）				
11. 公民館運営審議会	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> その他（ ）				
12. 公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 子育て支援 <input type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画 <input type="checkbox"/> ICTの活用 <input type="checkbox"/> ボランティア養成 <input type="checkbox"/> その他（ ）	<input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり <input checked="" type="checkbox"/> 防災 <input type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援 <input type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援	<input type="checkbox"/> 子ども食堂 <input type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input type="checkbox"/> 自主夜間中学	
13. 施設の特徴、魅力	<input checked="" type="checkbox"/> 複合施設 <input type="checkbox"/> 自由記述（ ）	<input checked="" type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> その他（ ）	<input type="checkbox"/> 学校	<input type="checkbox"/> 生涯学習センター	
14. 各種事業等で連携・協働している団体等（団体名記述）	<input checked="" type="checkbox"/> 幼稚園・保育所 <input type="checkbox"/> 企業 <input checked="" type="checkbox"/> 図書館	<input checked="" type="checkbox"/> 小中学校 <input type="checkbox"/> NPO <input checked="" type="checkbox"/> 博物館	<input type="checkbox"/> 高校 <input checked="" type="checkbox"/> 各種団体 <input type="checkbox"/> 青少年教育施設	<input type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> 行政機関 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> よみよみネット <input type="checkbox"/> 高千穂町生涯学習推進会議

### 高千穂町中央公民館

OPEN 9:00~22:00 H P  
TEL 0982-72-7219 SNS



## 1. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

- 昔から地域の繋がりが強い本町でも、過疎化が進む中、人と人との交流が希薄になり、コロナ禍でそれがさらに加速しつつある。自治公民館に加入しない世帯等も増えてきている。そのような中、本公民館では、「**生涯学習講座**」の開設により、それぞれの世代の学びを支援しつつ、**地域住民の交流の場を提供**している。
- また、近年、子ども達の読書離れ、文字離れの傾向が大きくなっており、学力の低下やこころの成長に影響を及ぼしている現状を踏まえ、読書の持つ教育的効果を再認識するとともに、**読書を通じて家族の絆を深めて**ほしいとの願いから、読み聞かせ活動に力を入れ、読書活動の推進を図っている。

## 2. 取組内容（力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動、運営の工夫など）

【楽しく学んで、心豊かに未来にきらめく！生涯学習講座（取組全体）】

町民の皆さんが楽しく学べるをモットーに、次のような生涯学習講座を開設している。

- 「**公民館講座**」…町民の生涯学習の推進を目的に、毎年、前期と後期で開設している。令和3年度は全15講座を開設し、延べ316名が参加した。参加者は、60代から70代女性の方が多いため、今年度はさまざまな世代や男性の方にも参加していただける講座を開設する。さらに、**県立博物館と連携**し、移動博物館「どこでも博物館in高千穂」などの企画では、「図書館まつり」と同日開催し、**親子の学びの場**となった（196名来場）。
- 「**知って得する暮らしの講座**」…町民の暮らしに役に立つ学びの提供を目的に、令和3年度より開始した取り組み。令和3年度は、健康講座（1回）・防災講座（1回）を開催。参加料は無料としている。
- 「**出前講座**」…平日開催の公民館講座に参加できない方も多いため、町内の団体やグループの学習に公民館講座の講師を派遣している取り組み。講師謝金を中央公民館で負担している。
- 「**子ども講座**」…子ども達の学習の場と交流の場の提供を目的に、毎年夏休み中に開設。令和3年度は3講座を開設（こねこね石鹸をつくろう！、牛乳パックで車を作ろう！、4コマまんがを書こう！）。
- 「**中央公民館ボックスギャラリー**」…町民の皆さんが制作した作品などを多くの方に鑑賞できるように、中央公民館ロビーに設置したボックスに月替わりで作品を展示する取り組み。令和3年度は、24の個人・団体の作品を展示した。



フラダンス教室



おはなし会

【楽しく読んで、心豊かに未来にきらめく！読み聞かせ活動（子育て支援・家庭教育支援）】

高千穂町は、「家族読書条例」を制定しており、町をあげて読書活動の推進を図っており、その中でも読み聞かせ活動には力を入れている。中央公民館では、毎月**読み聞かせ会**や**絵本相談の実施**するとともに、「**家族読書だより**」を発行している。また、町内の読み聞かせグループのネットワーク組織「よみよみネット」と連携し、保育施設や小・中学校、子育て支援センター、老人ホーム、障害者就労支援施設を訪問したり、交流センターなどにおいて、読み聞かせ活動を行っている。

## 3. 取組による成果や効果

【各活動によるの成果・効果（楽しく学んで、心豊かに未来にきらめく！生涯学習講座）】

- 参加者からは、常に**次の開講を期待する声**が上っており、最近増加している**移住者との交流の場**になっている。
- 郷土史や史跡を学ぶ「**里歩き教室**」や「**古文書教室**」は、参加希望者も多く、**本町の歴史・文化の継承**に大きく寄与している。
- 「**知って得する講座**」は、暮らしに役に立つ話を無料で聞けることから、**開設継続の要望**が多数あった。
- 「**子ども講座**」は、**子ども達の創作活動のきっかけ**にもなり、**親子で楽しめる場**にもなっている。
- 「**中央公民館ボックスギャラリー**」は、出展者の作品制作意欲の向上に繋がっていると同時に、鑑賞された方からは「自分も作ってみたい」との声が聞かれるなど、**町民の創作活動の推進**に繋がっている。

【各活動によるの成果・効果（楽しく読んで、心豊かに未来にきらめく！読み聞かせ活動）】

- 読み聞かせ活動や啓発をさまざまな場所で定期的に行っていることで、**読書に興味・関心がある子ども**が増えているとともに、家庭での読み聞かせも普及しており、**温かい家庭環境づくり**にも繋がっている。



古文書講座

## 4. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

- 本町には、生涯学習を推進するため、「高千穂町生涯学習推進会議」を毎年開催し、**生涯学習の推進に繋がる取組**を協議している。また、社会教育委員会、図書館協議会、公民館運営審議会においても、**町民のニーズに応えた効果的な生涯学習の在り方**を有識者や関係団体の方々と交えて協議している。
- 町内の読み聞かせグループのネットワーク組織「よみよみネット」の会議を定期的に行い、効果的な読み聞かせ活動について協議している。また、読み聞かせの仕方などを学ぶ読み聞かせ研修なども積極的に行っている。

## 5. 公民館として大切にしていること、大切にしている考え

- 公民館講座については、楽しみにしている町民の方も多く、常に**町民のニーズを把握**しながら内容を考えている。
- 公民館を訪れることを楽しみにしている町民の方も多く、職員も「**楽しく触れ合う**」ことをモットーにしている。
- 過疎地域であって町民の学ぶ場や発表の場が少ないため、**公民館で企画して学ぶ場や発表の場の提供**していきたいと考えている。
- 子ども達の豊かな心を育む取組**を積極的に継続して行っていきたいと考えている。



ガーデニング教室

## 6. これから公民館をどのようにしていきたいか。次の仕掛けやビジョンなど。

- 町民の**ニーズに応えた講座**の開設や**町民の皆さんが寄りやすい公民館**にしていきたい。
- 来館者や講座の参加者には一人暮らしの高齢者が多く、また、読み聞かせ会には転勤して来られた母子などが多い。そのような方々が、地域で孤立せず**人とつながりやすい場所**にしていきたい。
- スポーツが苦手な子どもたちも、スポーツ以外で夢中になれるものを発見できる**きっかけづくり**をしていきたい。



夏休み子ども講座

人がつながる！世界とつながる！共生の町 山川 指宿市立山川校区公民館



異文化交流会



プログラミング教室

公民館の沿革・年表

平成18年1月 指宿市，山川町，開間町の1市2町の合併により「新指宿市」が誕生。

平成18年2月 山川・徳光校区公民館を山川文化ホール内に設置。

平成24年5月 徳光校区公民館が分離し，山川校区公民館が山川文化ホール内に単独設置となる。

令和2年4月 山川小，大成小，徳光小，利永小の4校が統合し，「新山川小」が誕生。

令和2年7月 山川支所が山川文化ホール2階へ移転する。

左図・写真の説明等など（PRポイントなども可）

異文化交流会

指宿在住のベトナム人との交流を通じ，市民の国際感覚意識を高めるとともにベトナム人へ日本の文化や指宿の良さを理解してもらい相互交流を図ることを目的に実施。

プログラミング教室

校区の小学生を対象に，小学校で必修化になったプログラミング学習を実施。学ぶ楽しみ，自分で考える楽しみを実感しながら，自ら目的を定め，ロボットプログラミングを実践することで，必要な知識や経験を得る喜びを体験。

1. 都道府県名	鹿児島県	3. 公民館対象人口	1758人	5. 来館者のインターネット接続環境	無し
2. 市区町村名	指宿市	4. 建物設置年月日	平成18年2月1日	6. 来館者のインターネット接続最大端末数	0台
7. 運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者（ <input type="checkbox"/> 地区まちづくり協議会） <input type="checkbox"/> その他（ <input type="checkbox"/> ）				
8. 来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 357人 <input type="checkbox"/> その他 0人	<input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 2315人	<input checked="" type="checkbox"/> 講演会、展示会等 518人	合計	3,190人
9. 職員数	<input checked="" type="checkbox"/> 専任 1人 <input type="checkbox"/> 兼任 0人 <input type="checkbox"/> ボランティア協力者 0人	<input type="checkbox"/> 非常勤 1人	<input type="checkbox"/> 職員のうち社会教育主事有資格者の数 0人	<input type="checkbox"/> 職員のうち社会教育士の数 0人	合計 2人
10. 予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄附等 <input type="checkbox"/> その他（ <input type="checkbox"/> ）				
11. 公民館運営審議会	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> その他（公民館運営委員会）				
12. 公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 子育て支援 <input type="checkbox"/> ボランティア養成 <input type="checkbox"/> その他（ <input type="checkbox"/> ）	<input type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり <input type="checkbox"/> 防災 <input checked="" type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input checked="" type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援	<input type="checkbox"/> 子ども食堂 <input type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input type="checkbox"/> 自主夜間中学	
13. 施設の特徴、魅力	<input checked="" type="checkbox"/> 複合施設 <input type="checkbox"/> 自由記述（ <input type="checkbox"/> ）	<input type="checkbox"/> 図書館 <input checked="" type="checkbox"/> その他（山川文化ホール内に開設（2階は指宿市役所山川支所））	<input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター		
14. 各種事業等で連携・協働している団体等（団体名記述）	<input type="checkbox"/> 幼稚園・保育所 <input checked="" type="checkbox"/> 企業 <input checked="" type="checkbox"/> 図書館	<input checked="" type="checkbox"/> 小中学校 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> 博物館	<input type="checkbox"/> 高校 <input checked="" type="checkbox"/> 各種団体 <input type="checkbox"/> 青少年教育施設	<input type="checkbox"/> 大学 <input checked="" type="checkbox"/> 行政機関 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 指宿市PTA連絡協議会 <input type="checkbox"/> 地域女性連絡協議会 <input type="checkbox"/> 水産加工組合 <input type="checkbox"/> 山川漁協 <input type="checkbox"/> 九州電力

指宿市立山川校区公民館

OPEN 9:00~22:00 H P  
TEL 0993-34-1117 SNS



## 1. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

山川校区は、天然の良港である山川港を中心に、古くから海上交通の起点として交易の場となっていたこともあり、異文化を快く受け入れるオープンな地域性が特徴である。

公民館が主催する各種講座も、そのような地域色を反映したユニークなものや、地域のニーズに応えるものなど、バラエティーに富んだ充実した内容となっている。特に異文化交流会は「外国人実習生に職場と宿舎以外の居場所を作りたい」という地域住民の思いを受けて始まった活動で、地域住民と外国人実習生のつながりづくりの場となっている。

## 2. 取組内容（力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動、運営の工夫など）

### ①異文化交流

公民館講座として、異文化交流をテーマとした自主講座受講生を中心に、地元・山川の鯉節工場で働くベトナム人実習生との相互理解と草の根交流を図ることを目的に実施。全員で調理を行い、試食しながら講話を聴いたり、外国の文化として歌を披露してもらいながら相互交流し、異文化理解を図っている。

また、市の国際交流担当課と連携して令和2年度から図書コーナーを設置し、ベトナム語に翻訳されている本や日本語学習のための参考書などを置いてベトナム人実習生が自由に利用できるようにしている。この図書コーナーには他にも絵本や料理本などもあり、地域の子どもたちや公民館の利用者など様々な方が利用している。この図書コーナーに来た方がベトナム語の本や日本語の参考書などを目にする事で、ベトナム人実習生をより身近に感じることができ、相互理解にもつながっている。

### ②旧山川町全体の豊かな資源と企業を生かした講座運営

自然エネルギーの一つである地熱を活用した山川地熱発電所があることから、小学生を対象に、地熱に関連する場所や施設を見学しながら郷土の豊かな資源活用について学ぶ講座を実施。子どもたちは講師の話聞きながら質問をしたり、メモをとったりするなど積極的に学習することができた。また、地元の豊かな資源や魅力の再発見にもつながった。



異文化交流会



地熱の関連施設を見学

## 3. 取組による成果や効果

### ①特徴的な取組による成果・効果

異文化の理解、仲間づくり、思考力の成長、学習への意欲向上

### ②これまでの取組全体による成果・効果

上記以外にも「海岸清掃と海がめの放流会」を通して環境保全や命の大切さを学んだり、地元図書館と連携した「クリスマスのおはなし会」を開催したりしている。多種多様な講座をきっかけとして、受講生は新たな気付きや学びの機会を得ることができるとともに、受講生同士の「つながり」が生まれ、自主講座への移行後も特色ある学びが継続されている。



海がめの放流会

## 4. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

生涯学習講座や公民館講座では、受講生にアンケートをとっている。

公民館の事業の改善を図るために、公民館運営委員会で委員や社会教育課の指導・助言を受けながら、運営や成果について、点検・評価を行っている。指導・助言に対しては、館長・公民館主事が中心となり、改善に努めている。

## 5. 公民館として大切にしていること、大切にしている考え

人口減少・少子高齢化など地方独自の課題はあるが、より多くの住民が講座に関心を持ち、参加してもらえるよう多種多様な講座を企画し開講している。また、講師やボランティア人財確保のため、図書館や小学校、PTA役員OB、漁協など地域の関係団体とのつながりを強化し、生涯学習まちづくりのネットワークを拡充するよう努めている。



生涯学習講座 お菓子&amp;軽食づくり

## 6. これから公民館をどのようにしていきたいか。次の仕掛けやビジョンなど。

移住者や外国人を含め、山川に暮らす全ての人々が年齢や国籍の枠を超えて、「ねっかいで（みんなで）」公民館に集い、笑顔で交流し、学びあい、助け合いながら山川で暮らす喜びを感じてもらえるような公民館運営をしていきたい。また、今後も漁協や水産加工組合、九州電力（地熱発電所）など、地元企業と連携・協働した講座を実施していきたい。



異文化交流会

# ここが郷土 隼人姫城の「ふるさとづくり」

## 霧島市隼人姫城地区公民館



姫城しゅじゅどん会



子育てサロン「すももクラブ」

### 公民館の沿革・年表

隼人姫城地区公民館は、平成17年11月霧島市誕生以前から、旧隼人町の公民館分館として生涯学習の場、情報発信の拠点等の役割を果たしてきた。新興住宅地である隼人姫城地区において、地区の公民館活動のテーマは「ふるさとづくり」であり、あらゆる活動において地区住民の交流を大切にしている。霧島市教育委員会主催の定期講座以外に自主講座や各種同好会等を育成し、地区公民館を中心とした学習者同士の交流を深め、自主事業の「姫城地区文化祭」に取り組み、地域住民の生涯学習へ充実した手立てを行っている。

### 左図・写真の説明等など（PRポイントなども可）

#### ・姫城しゅじゅどん会

子どもから大人まで一緒に行う農業体験とその後の地域の伝統食を通じた交流活動で構成される。

大人にとっても地域の特性や伝統文化を見直すきっかけとなり、地域住民同士の連帯感が強くなっており、子どもたちの活動を通して「ふるさとづくり」が進められている。

#### ・子育てサロン「すももクラブ」

地域課題解決のため子育てサロン「すももクラブ」が自発的に立ち上がり、子育て家庭が集い、情報交換を行っている取組が他地区の模範的取組となっている。

1. 都道府県名	鹿児島県	3. 公民館対象人口	5550人	5. 来館者のインターネット接続環境	無し
2. 市区町村名	霧島市	4. 建物設置年月日	平成3年4月1日	6. 来館者のインターネット接続最大端末数	無し
7. 運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者（ <input type="checkbox"/> 地区まちづくり協議会） <input type="checkbox"/> その他（ <input type="checkbox"/> ）				
8. 来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 99人 <input type="checkbox"/> その他 0人	<input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 5420人	<input checked="" type="checkbox"/> 講演会、展示会等 7,089人	合計	12,608人
9. 職員数	<input type="checkbox"/> 専任 0人 <input checked="" type="checkbox"/> 兼任 1人 <input checked="" type="checkbox"/> 非常勤 1人	<input type="checkbox"/> ボランティア協力者 0人 <input type="checkbox"/> 職員のうち社会教育主事有資格者の数 0人 <input type="checkbox"/> 職員のうち社会教育士の数 0人	合計	2人	
10. 予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input type="checkbox"/> 委託金 <input checked="" type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄附等 <input type="checkbox"/> その他（ <input type="checkbox"/> ）				
11. 公民館運営審議会	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> その他（ <input type="checkbox"/> ）				
12. 公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 子育て支援 <input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動 <input type="checkbox"/> 子ども食堂 <input type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画 <input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援 <input type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input type="checkbox"/> ICTの活用 <input checked="" type="checkbox"/> 防災 <input type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input type="checkbox"/> ボランティア養成 <input checked="" type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり <input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援 <input type="checkbox"/> 自主夜間中学 <input checked="" type="checkbox"/> その他（青少年育成事業）				
13. 施設の特徴、魅力	<input type="checkbox"/> 複合施設 <input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター <input type="checkbox"/> その他（ <input type="checkbox"/> ） <input checked="" type="checkbox"/> 自由記述（社会教育法に基づく公民館、自治会活動拠点となる公民館としての機能を併せ持つ。住民各種会合や調理、簡単なスポーツも可能である。）				
14. 各種事業等で連携・協働している団体等（団体名記述）	<input type="checkbox"/> 幼稚園・保育所 <input checked="" type="checkbox"/> 小中学校 <input type="checkbox"/> 高校 <input type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input checked="" type="checkbox"/> 各種団体 <input checked="" type="checkbox"/> 行政機関 <input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 博物館 <input type="checkbox"/> 青少年教育施設 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 老人クラブ <input type="checkbox"/> 子ども育成会 <input type="checkbox"/> 地域女性連絡協議会 <input type="checkbox"/> 青少年育成会 <input type="checkbox"/> 消防後援会				

### 霧島市隼人姫城地区公民館

OPEN 8:30~22:00

H P

<http://www.city-kirishima.jp/gakusyuu/kyoiku/kominkan/shokai/hayato/hayatohimegi.html>

T E L 0995-43-8244

SNS



## 1. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

隼人姫城地区において、地区の公民館活動のテーマは「ふるさとづくり」である。

新興住宅地であることから新旧居住者の交流、地域の一体感が必要であったことや、地域の子どもの郷土愛を育み「ここがふるさと」と感じてもらうために、公民館では様々な取組を行っている。

## 2. 取組内容（力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動、運営の工夫など）

### ・姫城しゅじゅどん会

地区の公民館活動のテーマである「ふるさとづくり」を強く意識した取組として、平成15年、当時の隼人町教育委員会から「青少年育成モデル事業」への取組依頼があり、活動の体系化・組織化がなされ本事業が発足。活動内容を精選しながら現在も続くものである。

現在は活動テーマを「農業体験を通じた異世代交流と食文化伝承」として、子どもから大人まで共に行う農業体験と地域の伝統食を通じた交流活動で構成される。

地域女性連は食に関する体験指導、老人クラブ・地区有志は農作業に関する体験指導、子ども育成会は参加呼びかけと受付、シルバー人材センターは農地管理・農作業補助など年間を通じた活動において、各種団体と連携・分担し地域ぐるみで青少年育成に携わっている。

### ・子育てサロン「すももクラブ」

民生委員・児童委員や地域のボランティアたちと創作活動や読書会・学びの場などを提供している。特に大切にしているのが親同士が交流する「おしゃべりタイム」である。

### ・姫城地区文化祭

利用団体の学習成果発表と住民交流を目的に、中学生をはじめ多くの住民が参加し、公民館最大のイベントに発展した。（令和2年度から新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止）

これまでの活動

H15 かかり作り,みかんがり,そば打ち  
H16 かかし作り,そば打ち  
H18~ 米作り体験,そば栽培  
H23~ 収穫祭  
H24~ シルバー人材センターと連携  
H26~ さつまいも栽培  
H30~ じゃがいも栽培

姫城しゅじゅどん会 これまでの活



子育てサロン「すももクラブ」

## 3. 取組による成果や効果

様々な体験活動によって、子どもたちは農業や食に対する理解を深めている。また、食べ物や自然に対する感謝、郷土愛が育まれている。

地区内中学校の協力もあり、中学生の参加が多くなってきていることや美術部の活動の一環として看板づくりなどを行い、事業の活性化に繋がっている。

参加した子どもたちと地域の大人が顔見知りとなり、普段も挨拶を交わす地域のつながりができる。また、大人と触れ合うことで礼儀を学ぶ機会にも繋がっている。



さつまいも植え

## 4. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

青少年育成事業、姫城地区文化祭に関しては、実行委員会を組織し、計画から行事の実施までを行っている。

実行委員会のメンバーは、地区の有志がボランティアで長年勤め、行事ごとに反省点を出し合い常に改善を重ねてきた。

## 5. 公民館として大切にしていること、大切にしている考え

活動には高齢者も多数参加して子どもたちとの交流を楽しみにしており、経験や知識を子どもたちや保護者などの若い世代へ体験を通して伝えられることに大きな喜びを感じ、生きがいにもなっている。

大人にとっても地域の特性や伝統文化を見直すきっかけとなり、地域住民同士の連帯感が強くなっており、子どもたちの活動を通して「ふるさとづくり」が進められている。



稲刈り

## 6. これから公民館をどのようにしていきたいか。次の仕掛けやビジョンなど。

「子どもから大人までが共に農作業で汗を流し、その後一緒に食事をして交流を深める」という精選した目標と活動であることから永年活動が続いてきた背景がある中で、次世代の後継者育成や、これからの地域を支えるであろう子どもたちの興味関心を維持する活動をどれだけ取り入れるかが課題である。

また、根本的な理念は変えずに、様々な団体との連携を更に広げ、活動の内容に変化を持たせることに取り組んでいきたい。（例えば、SDGsの視点を入れるなど）



収穫祭

広げよう！ 出会い、ふれあい、地域の輪

鹿屋市大始良地区学習センター

公民館の沿革・年表

- ・昭和55年 大始良地区学習センター開館
- ・昭和55年 まちづくり大会（生涯学習発表会）の開催
- ・昭和58年 地域づくり推進事業「声かけ運動」発足
- ・平成4年 グラウンドゴルフ大会の開催
- ・平成26年 防災行政無線放送施設設置
- ・平成28年 鹿屋寺子屋の開設（大始良夢現塾）
- ・令和元年 鹿屋寺子屋の開設（南っ子応援団放課後見守り）
- ・令和2年 鹿屋寺子屋の開設（西俣寺子屋塾）

左図・写真の説明等など（PRポイントなども可）

- 40年前から継承される「声かけ運動」  
地域住民の連帯の輪を広げ、健全な青少年の育成を推進するため、昭和58年から取り組んでいる住民運動である。保護者や民生委員が市の巡回指導車で区内を巡回しながら補導や広報を行い、安全・安心な地域づくりに寄与している。
- 地域学校協働活動（鹿屋寺子屋事業など）  
学校活動の支援や地域の伝統行事を知る活動を通じて、地域を好きになってもらうように講師の先生方や児童民生員が見守っている。平成30年12月3日地域学校協働活動文部科学大臣賞受賞



1. 都道府県名	鹿児島県	3. 公民館対象人口	6,396人	5. 来館者のインターネット接続環境	無線LAN (Wi-Fi等)
2. 市区町村名	鹿屋市	4. 建物設置年月日	昭和55年4月1日	6. 来館者のインターネット接続最大端末数	0台
7. 運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者 ( ) <input type="checkbox"/> その他 ( )				
8. 来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 3266人 <input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 3542人 <input checked="" type="checkbox"/> 講演会、展示会等 306人 <input checked="" type="checkbox"/> その他 3534人 ( <input type="checkbox"/> ピー利用・図書室利用 )    合計 10,648人				
9. 職員数	<input checked="" type="checkbox"/> 専任 2人 <input type="checkbox"/> 兼任 0人 <input type="checkbox"/> 非常勤 0人 <input type="checkbox"/> ボランティア協力者 0人 ( 職員のうち社会教育主事有資格者の数 0人    職員のうち社会教育士の数 0人 )    合計 2人				
10. 予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input checked="" type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄附等 <input type="checkbox"/> その他 ( )				
11. 公民館運営審議会	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> その他 ( )				
12. 公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input type="checkbox"/> 子育て支援 <input type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動 <input type="checkbox"/> 子ども食堂 <input type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画 <input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援 <input type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input type="checkbox"/> ICTの活用 <input checked="" type="checkbox"/> 防災 <input checked="" type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input type="checkbox"/> ボランティア養成 <input type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり <input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援 <input type="checkbox"/> 自主夜間中学 <input checked="" type="checkbox"/> その他 ( 鹿屋寺子屋事業 )				
13. 施設の特徴、魅力	<input type="checkbox"/> 複合施設 ( <input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input checked="" type="checkbox"/> 生涯学習センター ) <input type="checkbox"/> その他 ( ) <input checked="" type="checkbox"/> 自由記述 ( 校区外通学の児童が、保護者の迎えを待つ間の利用がある。 )				
14. 各種事業等で連携・協働している団体等 (団体名記述)	<input checked="" type="checkbox"/> 幼稚園・保育所 <input checked="" type="checkbox"/> 小中学校 <input type="checkbox"/> 高校 <input checked="" type="checkbox"/> 大学 <input checked="" type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input checked="" type="checkbox"/> 各種団体 <input checked="" type="checkbox"/> 行政機関 <input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 博物館 <input type="checkbox"/> 青少年教育施設 <input type="checkbox"/> その他 ・鹿屋市役所各課 ・鹿屋市大始良中学校, 大始良小学校, 西俣小学校, 南小学校 ・国立鹿屋体育大学 ・南部幼稚園, 和光保育園, 西南保育園, 星塚保育園 ・J Aきもつき大始良支所 ・高齢者クラブ				

鹿屋市大始良地区学習センター

OPEN 8:30~22:00    H P  
TEL 0994-48-3150    SNS



## 1. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

- 小・中学生，高齢者を中心に，それぞれに応じた学びの機会と情報を発信する場所が必要である。
- 第一次産業を基幹産業とする地域で，後継者不足や共働きの労働力人口が多く，青年・壮年・中年期の利用者が少ない。
- 住民のニーズとして長期に持続できる講座を希望する方が多く，生涯学習の意識が高い。
- 生涯学習発表大会（まちづくり大会）は，市民講座，同好会，小・中学校及び各幼稚園等の参加を得て開催し，出演者を含む来館者は延べ2,000人程である。

## 2. 取組内容（力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動、運営の工夫など）

【キャッチフレーズ】あいさつと声かけで人づくり

【具体的な取組】

### ●生涯学習推進協議会の活性化

11町内会，幼稚園等，4つの小・中・高校の校長先生及び各種団体や地域の代表者との連携を密にするとともに，活動内容について当センターだよりに掲載して広報に努めている。

### ●高齢者学級の充実

年6回を計画し，前半は「知識型講座」，後半は「健康講座・健康体操」の2部構成で実施している。閉講式ではアンケートを実施し，次年度の講座内容に生かしている。

また，公民館運営審議会での答申に沿い，現代的課題に応じた学習機会の提供として，スマートフォン活用講座や防災講座を取り入れている。

### ●地域学校協働活動の更なる進化

平成30年12月に「かのや学校応援団大始良地域学校支援活動」の成果に対して文部科学大臣表彰を受けた。学校等と連携してより充実した活動を実施している。特に，寺子屋事業は現在の3カ所から，新たに高齢者のサロンを活用した見守りと学びの場を模索している。

### ●安全・安心な館の運営

地域の方の協力を得て，環境美化を図っている。



高齢者学級での健康体操



伝統の継承と見学する寺子屋生

## 3. 取組による成果や効果

### ●各部会による生涯学習推進事業の活性化

生涯学習推進協議会には4つの部会があり，それぞれが事業を行っている。特に生涯スポーツ部会が実施する「ふれあいグラウンドゴルフ大会」においては，企画・運営から当日の司会進行までを部員が行い，地域のリーダーとして活躍している。

### ●地域伝統行事の継承

地域学校協働活動を通して，子どもたちに受け継ぐべき伝統行事を地域と学校が協働して，継承する取組ができあがった。子どもたちが地域について考える「気づき」となった。

### ●ボランティア活動の定着

環境美化に地域の皆さんが協力してくださり，安全・安心な館の運営に成果をあげている。



ふれあいグラウンドゴルフ大会  
優勝チーム

## 4. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

- 生涯学習推進協議会の総会と4つの部会での行事立案・実施における意見交換や実施後の検証（次年度へ）
- 市民講座や同好会などの活動日誌から見えてくる講座生のニーズに対する分析と評価
- 地域学校協働活動（学校応援団）に対する支援者と学校からの要望の整合性を把握するための聞き取り

## 5. 公民館として大切にしていること、大切にしている考え

- あいさつと声かけを大切にしている。
- 来館された方が帰る時に，「今日は楽しかった。勉強になった。」と褒めていただける館の運営に努めている。
- やり方や考え方は，ひとつではなく同じではない。臨機応変な対応を心掛けている。



市民講座「ペン習字」

## 6. これから公民館をどのようにしていきたいか。次の仕掛けやビジョンなど。

- 館の発信力強化・・・館に人が来ることは基本である。市民講座など時間帯によっては来館できない地域住民がIT技術によりいつでも参加（見れる）できる公民館。
- 地域資源の活用・・・大始良には多くの史跡が残されている。「地域づくり」「地域の活性化」に向けた「まち歩き」に取り組む。



含粒寺（南町）





文部科学省

MINISTRY OF EDUCATION,  
CULTURE, SPORTS,  
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN



文部科学省総合教育政策局地域学習推進課

文部科学省HP

公民館の振興についてはコチラ⇒

